

「荒野で叫ぶ者の声がある。

『主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ。

…あらゆる人は、神の救いを見るようになる。』

(ルカ 3:3-6)

ハレルヤ！ 深紅や黄色のりんご、オレンジ色に輝くみかん、黄緑や紫紺のぶどう、そして神様が愛する、黄金の尊き魂を豊かに収穫する、実りの秋ですね。

今回、『主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ』とのテーマで、巻頭言を2つに分けてお送りします。

Part1は、ティーン、20代の「自主性」と「親の責任」について、エリ、サムエルの失敗を他山の石にして学ぶセッションです。Part2は「大正・昭和の大リバイバルと厳しい弾圧」の失敗の歴史から、ホームスクーラー家族が今、心備えし、心を強くすべき点について、示されている秘訣を分かち合います。



キリストにあつて、ジャンプ！走り幅跳び（チア・オリンピックにて）

今秋は、チア・オリンピック（190名）、チア・伊勢崎伝道デー（80名）、ワクワク集中勉強合宿 with ジョイ・スイミング（120名）と、神様の恵みと祝福と喜びの中で終えることができました。

11月23日（祝・木）～25日（土）は、いよいよ今年最後の企画、「励ましとチャレンジセミナー in 白馬」が開催されます。今年も、聖霊に満たされ、新たな気づきと楽しい休息と恵みと祝福にあふれたセミナーとなるように皆さまのご参加とお祈りのほど、どうぞ、よろしくお祈りいたします。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

## 「もう大人なので、本人と神様に任せます」は聖書的？

「ティーンたち」の子育てについて、最近、4家族の皆さんと違った場所で話し合う機会がありました。「もう（13歳～22歳になって）大人ですので、これからは神様に委ねて…」というご発言が共通項でした。それは、この世なら当たり前かもしれません。ティーンや20代は、自主性を尊重して…という考えや風潮がありますね。

しかし、こうした見方について、聖書はどう言っているのでしょうか。この秋、チア・メンバー4家族との個別の面談やCSS（チア・サポートスクール）の秋の保護者会で、話し合う主題となりました。

なぜ、このテーマが大事かという、せっかく親が深く関わってきたホームスクーラー家庭でも、「ティーンになったから」という言葉に騙されて、子どもに振り回されているのでは、というケースが多々見られるからです。さらに、子どもの大切な魂や神様に与えられた進路が失われつつある姿を、時に目にするからです。

もちろん、少しずつ自立を励ますタイミングでもあるでしょうし、5歳、10歳とは違うアプローチが必要だと思います。しかし、ティーン世代や20代は、まだ右にも左にも大きくぶれる時代でもあり、一生に影響を与え、何より自主性という名の放任で、神様や親との絆を失う事例も少なくないのです。親がどこまで責任をもって関わるべきか。これは大変、大事なテーマであり、聖書ではどのように教えているのか、注意深く見つめていく必要を思いました。

結論としては、以下の通りです。聖書に登場するエリもサムエルも、60歳、70歳になっていたであろう我が子が「よこしま」（第一サムエル2:12）で、ほしいままに振る舞っていても、放置しました。エリは親としての責任を問われ、命を失い、サムエルは、神権政治から人間の政治へと歴史を転換させる、大きな失敗を犯します。それゆえ、聖書は、この世の慣習とは違い、親の責任を何歳までとは限定せず、ティーンや若者になっても親の指導・助言は必要であり、親が責任者であり、的確に関わり続ける必要を教えています。



鍛錬！ 年々増える1500m走のチャレンジャーたち（チア・オリンピックにて）

## 祭司エリ

### 98歳で、息子たちの責任問われる

エリは40年あまりも神の祭司として国民を指導し、サムエルを預かって大預言者として育てました。しかし98歳の時、おそらく60代以上になっていた息子たちの責任を問われ、神に命を絶たれることとなります。息子たちは成人し、祭司となり、神様への献げものを脅し取り、自分の欲望のために用い、不道徳・姦淫を犯します。神を恐れなかったわけです（第一サムエル2：12－17）。

エリは、国民から苦言を受け、子どもたちを口頭で注意しますが、子どもたちはエリの警告を聞きません。子どもに好き勝手をさせてきたことで、親への敬意や従順さは育まれていませんでした。

また、エリ自身、神様から「あなたは、わたしよりも自分の息子たちを重んじて…自分たちを肥やそうとするのか」（第一サムエル2：29）と責められます。「それゆえ、——イスラエルの神、主の御告げだ——あなたの家と、あなたの父の家とは、永遠にわたしの前を歩む、と確かに言ったが、今や、——主の御告げだ——絶対にそんなことはない。わたしは、わたしを尊ぶ者を尊ぶ。わたしをさげすむ者は軽んじられる。見よ。わたしがあなたの腕と、あなたの父の家の腕とを切り落とし、あなたの家には年寄りがいなくなる日が近づいている。…（息子は）ふたりとも一日のうちに死ぬ」（第一サムエル2：30－31、34）と、祝福の約束の破棄を告げられます。理由としては、大人になり、祭司職という指導者、権力者の立場を得ていた息子たちへの「指導責任の放棄」が問われたと聖書は明確に記します。「わたしは彼（エリ）の家を永遠にさばくと彼に告げた。それは自分の息子たちが、みずからのろいを招くようなことをしているのを知りながら、彼らを戒めなかった罪のためだ」（第一サムエル3：13）

### 預言者サムエルの子育ての失敗

一方、少年サムエルは、同じ祭司エリによって育てられますが「主のみもとで成長」（第一サムエル2：21）します。そして「主は彼とともにおられ、彼のことばを一つも地に落とされなかった」

（第一サムエル3：19）のでした。しかし、私たちのヒーローとも言うべき預言者サムエルは、子育てでは失敗し、その後、民は神による支配を捨て、王による支配を求め、苦しみの道を選択するという、今日に至る暗黒の歴史を呼び込む原因を作ります。

「サムエルは、年老いたとき、息子たちをイスラエルのさばきつかさとした。長男の名はヨエル、次男の名はアビヤである。彼らはベエル・シェバで、さばきつかさであった。この息子たちは父の道に歩まず、利得を追い求め、わいろを取り、さばきを曲げていた」（第一サムエル8：1－3）

サムエルは、乳離れしたばかりの時にエリに預けられ、直接、父母のしつけを受けず、「良き親の模範」を見て育つことはできませんでした（参照：第一サムエル1：24－28）。その結果もあってか、サムエルは父親としては良き子育てができず、神と人間の歴史に大きなマイナスをもたらすこととなります。

### 神に従わない子どもたち

#### 神に導かれる生活から、

#### 王・国家に支配される生活へ

サムエルの子に苦しめられた民は、サムエルに反旗を翻します。「今や、あなたはお年を召され、あなたのご子息たちは、あなたの道を歩みません。どうか今、ほかのすべての国民のように、私たちにさばく王を立ててください」（第一サムエル8：5）。サムエルは気に入らず、主に祈り、主は答えます。「この民があなたに言うとおりに、民の声を聞き入れよ。それはあなたを退けたのではなく、彼らを治めているこのわたしを退けたのであるから。わたしが彼らをエジプトから連れ上った日から今日に至るまで、彼らのした事といえば、わたしを捨てて、ほかの神々に仕えたことだった。そのように彼らは、あなたにもしているのだ。今、彼らの声を聞け。ただし、彼らにきびしく警告し、彼らを治める王の権利を彼らに知らせよ」（同8：7－9）

サムエルは、さばきつかさとして、人間の王を求める愚かさを警告します（参照：同8：11－18）。それでも民は、サムエルの警告を聞かず、

主は「彼らの言うことを聞き、彼らにひとりの王を立てよ」（同8：22）と言います。

神の指示に従うのではなく、人間の王を立てることは、税金や自分の子どもたちを王のために取られ、自分たちの命も生活も人生もコントロールされる愚かな選択でした。その引き金となったのは、なんと、サムエルの子育てです。大人になり、仕事を持った子どもたちの起こした問題が、父親サムエルを直撃しています。

「あれは大人ですから、もはや本人の責任です。自主性に任せます」とは言えないのです。

モーセの兄、アロンの息子もまた神と父に背き、命を落としています。子育て、親の責任というまなざしで聖書を読んでいけば、いかに多くの信仰の勇士たちや王たちが子育てに失敗しており、親の責任の重要性について、神・聖書が重要視しているかが分かります。

## ビリー・グラハム氏が ホームスクーリングをサポートする理由

現代の著名な伝道者たちでも子育ては簡単ではなく、苦悩の種です。ビリー・グラハム氏は、「子育てはうまくいかなかった。もう一度子育てするなら、ホームスクーリングをします」と言っています。荒れた子どもの一人、フランクリン・グラハム氏は、その後、悔い改め、サマリタンズ・パースのリーダーとなり、東日本大震災等で多くの良き支援をしてくれました。しかし、その年収は1億円を超えていると言われて批判もあり、こうした点をどう受け止めるかは、アメリカでも様々です。ミニストリーでは20世紀で一番成功したと言われ、でも子育てでは苦悩したと振り返るビリー・グラハム氏の言葉は重いです。

ビリー・グラハム氏が自らの体験や聖書への洞察をもとに、最善と考えるホームスクーリングの道に導かれた私たちは、それを霊的な励ましとして、とらえていければと思います。

## リック・ウォレン牧師の苦悩と ホームスクーリング

以前、多くの日本の牧師たちがそのセミナーに

出かけたリック・ウォレン牧師は、オバマ大統領の就任式で祈る牧師として招かれるなど、一時は成功した牧師でした。しかしその後、教会は経済的に破綻し、連邦破産法等の申請をしなければならない緊急事態とのことで、ロサンゼルスタイムズ等、メディアをにぎわしました。息子さんが先に天国に逝くという、子育てでの悲しい体験もされています。脚光を浴びた牧師、伝道者たちにも、困難も失敗も試練も許されます。

私自身も、様々な失敗をしていますし、苦しみ、試練、困難をくぐるのが今後もあると思います。しかし、すべては感謝。神様の御手はすべての上に置かれ、キリストへの悔い改めのあるところには赦しがあり、すべてが主にあって益と変えられていく最善の計画があることが、聖書に約束されています。

このリック・ウォレン牧師率いるサドルバックチャーチもまた、ホームスクーラーを強力にバックアップする教会の一つです。クリスチャン系のバイオラ大学（長女、エミリが3年生となりました）が主催するホームスクーラー向けのサポートスクールのために教会を提供し、近隣のホームスクーラーたちが週1～2日集まって、数学、理科、国語など、勉強のサポートを受けている様子を取材させてもらったことがあります。アメリカでトップクラスの成功者と言われ、同時に子育ての困難も体験しているウォレン牧師も、ホームスクーリングに主の導きを覚え、望みを託している一人なのです。

## 聖書に立つ子育ての 大リーグボール養成ギブス

聖書に立つ子育てに導かれた私たちにとっても、ホームスクーリングは簡単ではなく、それぞれ課題に向き合うことになると思います。一般の親が背負わなくていい、「聖書に立つ子育ての大リーグボール養成ギブス」をつけ、親として鍛錬されながら歩んでいるようなものです。多くのホームスクーラーの皆さんは深い喜びを味わいつつも、「学校に預けたら、楽だったろうな」と思うことは一度や二度ではないでしょう。しかしながら、その効果は、本人が気づく、気づかないに



**困難への挑戦 - お父さんたち、障害物競争に取り組む**

かかわらず、着実に出ています。私たちは、聖書が子育てについてどう言っているのか、そのポイントに心を向けるよう研ぎ澄まされ、神様の声を聞くトレーニングを受けてきたとも言えます。

自分の力は大了たことがなく、人間の力に頼れない、何もできない、しかし、神にはできる！との真理の秘訣を、ホームスクーリングを通して実体験してきたのだと思います。

では、私たちは、どうティーンや若者世代の子育てに向かっていくべきか。世間では「子どもたちの願うまま」とか、「子どもがティーンになったらあとは本人に任せて」といった考え方が当たり前のような風潮の中、聖書が示す通り、親の使命や責任を強く教え続ける神様の声に耳を傾けていければと思います。10代、20代は、まだまだ未熟であり、親の皆さんの助けが必要です。50代半ばとなった私自身の経験も判断も、不十分であることを日々思います。ましてや20代の判断には、サジェスションが必要でしょう。その知恵と判断する心を神様に求め続けていきたいと思っています。

ちなみに永田町（国会）では、50代は鼻たれ小僧、60代は青二才、70代、80代になって、ようやく道理や分別が少し分かってくると言われるそうです。ましてや、10代、20代の歩みには、まだまだ親の助けが必要です。

もちろん、「親の支配」「感情的な怒り」等には気を付けます。父親・母親が子どもを支配し続けるとか、アダルトチルドレンにしていくとか、そのような病的なケースは別問題です（父母によるコントロールの問題については、後ほど、取り上げることができればと思います）。

一方、子どもたちが関心を示し、神様が志を与えているかもしれない分野では、積極的な励ましを続けます。父なる神もまた、私たちが何歳になっても、親として関わりを持とうと手を差し伸べ続けてくださっているのと同じです。

このテーマで話し合ってから、私もさらに心ずるようになり、社会人の長男、真祈史（25歳）に電話をし、大学3年生の長女、エミリ（20）とメールのやり取りをしながら、さらに絆を深めていく機会に導かれ、感謝でした。

### **チア・オリンピックを通して 教えられたこと**

「第7回チア・オリンピック」は9月9日（土）、晴天の中、190名あまりの皆さんが参加され、「自信を生み出す450個メダル大作戦！」も敢行し、とても楽しい有意義な時間となりました。「初めて参加しましたが、とてもウェルカムの雰囲気

素晴らしい」「4位、5位、6位等の子も再度、メダルのチャンスがあるのは、よく工夫されている」「早い子にも遅い子にも、励ましの声援があるのが素晴らしい」といった声が続きました。

我が家も次男ジョセフ(9)が準備して臨み、僕自身も教えられることが多くありました。オリンピック前に、ロサンゼルス・バーバンク市の企画で「陸上部体験5日間」があり、ジョセフは張り切って申し込みました。約1時間30分のトレーニングで、家に帰ってから、さらに約1時間、私とトレーニングしました。

その時、私は100m走に備え、スタートダッシュの練習をしていたところ、約3年ぶりにふくらはぎが肉離れになってしまいました。十分、ストレッチをしないで臨んだからです。

### ホームスクーリングに活かせる教訓①： 過信せず、準備運動、ストレッチは十分やること

走り始めて約6年。最近では忙しさの中でほとんど走っていないのに、気持ちだけ走れるつもりになって、いきなり全力のスタートダッシュを10本やってのケガでした。ホームスクーリングも過信は禁物。準備となる祈りや、謙遜な心が大事なと思いました。

### 教訓②：体をホームスクーリング仕様へ

少しずつでいいので、練習は継続すること。ケガをして2日。痛みがやわらいだので走ったら、スタートダッシュ5本めぐらいで、また肉離れでした。今度は重症で、数日間は氷を巻いての日々。約1ヶ月半、練習中止でした。少しずつでいいので、日ごろの「継続的な練習が必要」だと思いました。最近、あるお父さんから「マラソンのコツ」を聞かれました。そこで、元東洋大やNECの陸上部監督で、浅井えり子さんら国際的なランナーを育てた佐々木功さんの著書『ゆっくり走れば速くなる』や、福岡大スポーツ学教授の田中宏暁さんの著書『賢く走るフルマラソン—マラソンは「知恵」のスポーツ』をベースに、実体験して納得したことを分かち合いました。

「フルマラソンは、理にかなった練習をすれば

誰でもできます。約3ヶ月、LSD(①ロング/20分~1時間続けて走る②スロー/できるだけゆっくり、にこにこ自然に笑えるスピードで走る③ディスタンス/できるだけ長距離を走る。5~10キロ等)を週2回すれば、体(筋肉・心臓/呼吸器系)がマラソン仕様になってくるのだそうです。それで10キロマラソンやハーフマラソンは十分できるようになります。その後、3ヶ月、LSDを週2~3回続ければ、必ずフルマラソンが走れます。

アメリカでは、心臓手術をした患者さんのリハビリとして、LSDでマラソンをさせるリハビリ療法の効果が認められ、定着しているとのデータもありました」と答えました。

自分のホームスクーリングも、長期間、効果的に子どもたちと向き合える「ホームスクーリング仕様にしてもらおう」と神様に祈ることにしました。子どもたちと接する時、LSD(①ロング/エリ・サムエルらを他山の石に、神様が願う長期間、責任をもって②スロー/忍耐をもって、できるだけ焦らず、ゆったり③ディスタンス/できるだけ長く、霊的な深さをもって)で、神様に喜ばれ、一緒に歩めるように祈っていこうと思いました。

### 教訓③：ハイニー(もも上げ)トレーニング 違ったコーチの指導も受ける

「ダディ、足上がってないよ。ハイニー、やったら？」とジョセフに言われました。そこで、もも上げを試みると、ずいぶん速く、軽く走れました。実は「ももをもっと上げて走って」とのアドバイスは、現在、NHK「ラン×スマ」のコーチとして登場されている真鍋未央さんにも、3年前のチア・ジョイランの時にアドバイスされた点でした。同じくNHK「ラン×スマ」講師で、私が最も尊敬するマラソンアドバイザーの金哲彦さんは、「ももの筋肉に頼らず、丹田に重心を置き、肩甲骨と骨盤を連携させ、前傾すると、自然に足が出て楽に長距離を走れます」と解説していました。それは長距離走の中核のポイントで、正しく、とても効果がありました。しかし私は、それにこだわりすぎて、行き過ぎていたようです。真鍋さんも「ちょっと違った角度のアドバイスも役立つ

よ」とのことでした。

ホームスクーリングライフでも、それぞれ気に入ったやり方、フォームがあると思います。でもやはり、時々違った、信頼できるコーチからチェックを受けるのは、効果的なサポートになるのではと思いました。もちろん、しっかりと実績あるコーチ、あるいは根拠あるアドバイスが必要です。

その意味で、チアでは、白馬セミナー、コンベンション等を提供しています。今年の白馬セミナーは、アメリカで「ホームスクーリングの父」と称されたグレッグ・ハリス氏を10年ぶりに迎えるほか、ジョイス・イノウエさん始め、多数の実績ある講師陣を迎えます。違った角度、新しい角度からの気づきや励まし、情報、聖書的なチャレンジを得てくださったらと思います。このチャンス、ぜひ、ご利用ください！

#### 教訓④：長期的なゴールを目標に、 のびのび作戦で、困難の克服を！

##### A. 困難への対応

チア・オリンピック1週間前、ジョセフは熱を出して咳き込み、病院に行くこととなりました。前日の夜には少し元気になって「ダディ、練習に行こう！」ということで久々に外に出ました。残念ながら、走り方は、アメリカの陸上部練習で身につけた時の走りとは変わっていました。でも、大会には出られそうで、感謝でした。

当日朝、ジョセフは、陸上部で教えられたストレッチを皆さんに分かち合いたいと願っていました。体調的に無理かなと思いましたが、「やりたい！」ということで、藤井一朗実行委員長の許可を得て、約190名の皆さんをリードできました。

私の方は、まだ足に少し違和感もあったので、ケガをせず全種目走破というゴール設定で臨むことにしました。最初は、過去二度、肉離れを起こした「100m走」。今回はゆっくりスタートで、徐々に加速する作戦で、のびのび走りました。お陰で、ケガをせず、グループトップで走れて良かったです。先のグループで走った若いお父さんたち3人の記録には及ばず、メダルは無しですが、楽しく主を讃えました。

ジョセフは病み上がりで、100m走は失意の4

位。敗者復活のハーフ走で、1位となりました。

##### B. 本人の意思の尊重（喜び学習法）& アドバイス

そして、ジョセフは今回初挑戦の1500m走。ロサンゼルスで5キロ走を一緒に走った（かなり歩いた）ことはありますが、レースで1キロ以上を走るのは初めてです。練習もゼロです。「（病み上がりだから）750mでいいんじゃない？ 来年、練習してから出ては？」と何度か聞きましたが、「大丈夫。今年、1500m出るんだ！」とのことでした。途中で走れなくなってリタイアだったら、きっと嫌な思い出となるかな…と心配もありましたが、本人が出たがっているし、「あなたの信じた通りになれ」「あなたの道を主に委ねよ」だと思いました。でもただ走らせず、アドバイスつきで。「最初はとにかくゆっくり走って、最後、全力で飛ばすんだよ。まわりと一緒に最初から飛ばしたら、最後、疲れるから、最初は楽だなーと思うぐらいに抑えるんだよ」「分かった」

幸い、ジョセフはゴールイン。タイムも良く「すごい、うれしかったー！」とのこと。良かったです。

##### C. 祈り

お昼は、全家族で近況アップデート。参加者の矢野仁さん（70）が「稲葉さんの走りぶりすごい。それを見て、感動しました」とのこと。祈りの答えだなと思いました。5年前、4つ年上の堀井洋二さんと競って、100分の1秒差で敗れました。洋二さんはその時、54歳。僕も54歳になっても、あれだけ走りたいなーと敬意をもって祈ったのでした。それから5年、実はチア・オリンピック当日、55歳になったのです。「あの走りっぷり。励まされました」とのこと、祈りが答えられたなーと思いました。

##### D. ペースマネージメント

午後の部、私はソフトボール投げ、ジャベリックスロー等、振るわず。でもジョセフは、ソフトボール投げ、1～3年生の部で3位となり感謝。3～4年生の部で3位になった走り幅跳びに続いての受賞でした。最近、キャッチボールをよくして

いたのでその成果が出たのだと思います。ジョセフは200mを走り切って、ここで完結。

私の方は、「ゆっくりスタート、のびのび走」に徹し、スタート。後半、衣笠健三さん(47)を、ぎりぎり抜けませんでした。「(衣笠さん)いつも最後、稲葉さんに抜かれるけど、今年は勝ちました!」とのこと。400m走は私も限界が近づいていましたが、祈って出ました。また、衣笠さんとデッドヒートになり、今回はダッシュを少し早めにし、50mあたりで抜き去り、そのまま逃げ切り、お父さんの部で3位入賞できました。そして、今年目標であった「ケガせず、全種目走破!」を達成できました。

### E. 成長の時

最後のリレーも、とても励まされました。<sup>あたる</sup>「陽、頼むぞ! まわりの友達を気にせず、ひたすら全力で走るんだよ」とスターターの堀井陽君(6歳)に話しました。うなずいた陽君は、トップ。お父さんの堀井卓さんも「4歳までは、25m走、毎年、途中で泣いてただけだね!」と大喜び。7番目

の走者は、中村義也君(16歳)。彼はチア・サポートスクールで頭角を現し、勉学にもボランティアにもメキメキ成長している若者です。でもこの夏、体調を崩したとのことで、いつも大活躍してくれるチア・オリンピック参加を迷っていると聞き、「気分転換にもなるだろうから、ボランティアでいいから来て」と誘った一人でした。

当日は、ひたすらボランティアを行って来ていました。でもリレーの7走を引き受けてくれ、強豪を抑えてトップでバトン。「良かったー! リレーに力を温存してくれてたんだね! すごい!」。そのままチームはトップで、アンカーで9番手走者の衣笠さんがゴールイン。みんな歓喜に湧きました。

### のびのび、にこにこ ホームスクーリング大作戦

この日、私個人として学んだことは多かったです。長期プランを練って、初めは飛ばしすぎず、理論的にもポイントを押さえ、粘り強く走りぬく



ペース配分の重要性! 後半追い上げを狙った稲葉さん(右・55歳)、200mは衣笠さん(左・47歳)に100分の9秒届かず! 少し早めにペースを上げ、400mは逆転V!

方法もその一つで、神様に教えられた気がしました。「山あり谷あり」のホームスクーリングライフにも、適応できる大事なポイントかなと思います。

自信を与えるメダル450個大作戦の表彰式は、集計に予想以上に時間がかかってしまい、大喜びながらも、時間オーバーとなって反省しました。でも神様に大いに感謝する中で終わられました。ジョセフは「1500m、楽しかったー」「ストレッチ運動、みんなに教えられて良かったー」と何度も言っていました。とても感謝な第7回チア・オリンピックでした。

### 強くあれ、雄々しくあれ！

前号の巻頭言で、警察官がホームスクーラー家庭に事情聴取に来た時のやり取りについて書きました。私の義理の父はノンクリスチャンですが、「感動した。カンパだ！」と献金を送ってくれました。「165号読みました。時代は悪い方向に向かっていると思います。今後、不当な恫喝や不条理な扱いを受けた時への対処の仕方や心備えをチアの皆さんに徹底させることが必要と思います。正しいことをしているのだから、恐れることはありません」とのコメントも一緒でした。

### 水戸黄門の印籠 — 「教育機会確保法」

数日後、教育委員会に恫喝されたAさんから連絡が届きました。「『教育機会確保法』ってすごいです。水戸黄門の印籠みたいです。かなり激しくおっしやってこられたので、今年2月から施行されている『教育機会確保法』にも『多様な教育の重要性を鑑みる』とあると伝えたら、突然、トーンが変わり、『ちょっとお待ちください』となって他の方々と話され、『大変、申し訳ありませんでした。私が勉強不足でした。どうぞ、お許してください』と謝ってこられて。法案を良い方向に進めてくださり、ありがとうございました」とのことです。

最近、この法律を作成された議員の皆さん、河村建夫元官房長官・元文科大臣、馳浩前文科大臣、笠浩史元文科副大臣らに、それぞれお会いする機



河村建夫 元官房長官・元文科大臣



笠浩史 元文科副大臣



石破茂 元地方創生大臣と馳浩 元文科大臣、妻の高見恭子夫人 (9月19日)

会があり、その話もお伝えでき、喜んでもらいました。

そうしたAさんからの報告等もあったばかりだったので、「恐れるな。正しいことをしているのだ

から」との義父の言葉も、余計に胸に響きました。

## イエス様の恫喝への対応法

聖書では、正しいことをしたイエス様も、使徒パウロたちも、預言者たちや弟子たちも、ほぼ全員、濡れ衣を着せられ、罵倒され、恫喝され、不当な扱いを受け痛めつけられます。最後には、イエス様始め、多くの信仰の模範の人々が命を失います。しかし、イエス様たちの対応は、とにかく冷静でした。

時に、殴られた右の頬の次に左の頬を差し出し、弁明すべき時は冷静に弁明し、対話をしていきます。どの場合も共通していることは「強くあれ、雄々しくあれ」「神を恐れよ」「人を恐れない」「驚かず、すべてを感謝し受け入れる」「困難の中に隠された神の最善の計画を見る」「神の知恵と聖霊の導きの中に、愛と礼節と福音をもって行動する」…といった姿勢です。神様の助けを祈り続け、悔い改めつつも、人間の圧力に屈せず、伝道の機会を祈っていく姿勢です。

## 伝道デー開催

「チア・伊勢崎 東京路傍伝道デー」も、台風一過の18日（祝・月）、紺碧の秋空の下に開催されました。こちらも約80名の皆さんと、ホームスクーリングの究極の目的、「伝道・世界宣教」に向けて、上野公園界隈の住宅等への戸別配布や路傍賛美伝道をし、魂の踊る素晴らしい一日となりました（協賛：One Hope）。詳細は、次号で報告させていただこうと思います。

フェリーチェ学園を展開する「伊勢崎」の皆さんは、伝道のスピリットを貫き、群馬県は全戸配布を何度も終え、東京では今まで100万部以上のトラクトを戸別配布しています。毎月1回東京伝道を行っており、どなたでも自由参加。チアとしても来春、再び共催で伝道デーを企画できたらいいなと考えています。

## ワクワク勉強集中合宿

with ジョイ・スイミングも祝福される！

3日後、「ワクワク勉強集中合宿 with ジョイ・スイミング」も、恵みと祝福の中で進みました。参加者120名の皆さんと、たくさんの恵みがありましたが、紙面の関係で、これも次号でレポートできればと思います。

そのほか、9～10月はたくさんの方があり、書ききれませんが、神様からのたくさんの励ましに気づき、また、教えられることの多い日々で感謝でした。

## 白馬セミナーに向けて 高嶺を目指して

いよいよ、今年最後の企画、「励ましとチャレンジセミナー in 白馬」です。春のコンベンションの時には、肺炎で急きょ、来日延期となりましたグレッグ・ハリス氏の「キリストにあって高嶺を目指すセミナー」が開催されます。また、パーキンソン病の闘病を続けつつ、「学習障害」と言われる子どもたち・家族を始め、神様のまなざしで子どもたちを見つめるジョイス・イノウエさんほか、たくさんの素晴らしい講師陣を迎えてのセミナーです。グレッグ氏らによる「ティーン、OB/OG 向けのセミナー」も予定しています。上記の通り、ティーン、20代の子どもたちと向き合う時間ともなればと思っています。少しお疲れの皆さんはぜひフレッシュされ、元気満々の皆さんは、さらに別角度からのコーチングや知恵・情報、励ましを受け、将来に備えていただければと思います。今年も聖霊に満たされ、大いに励ましとチャレンジを受ける楽しく、有意義な時となるように、皆さんのお祈りとご参加をぜひ、よろしく願います。

「荒野で叫ぶ者の声がある。『主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ。すべての谷はうずめられ、すべての山と丘とは低くされ、曲がった所はまっすぐになり、でこぼこ道は平らになる。こうして、あらゆる人が、神の救いを見るようになる。』」（ルカ3：4－6）

皆様へのイエス様からのますますの祝福を心から祈ります。

感謝しつつ

稲葉 寛夫

## 巻頭言 Part 2

# 主の道に歩むための備え —リバイバルと迫害—

### リバイバル後の迫害への心備え

権力による恫喝、不条理な扱い、迫害へのホームスクーラーたちの心備えということで、日本のクリスチャンの歴史から、さらに考えさせられることがありました。

寝る前に、ジョセフに読み聞かせをする時間を毎晩、30分～1時間ぐらい持つようになって、ほぼ4年になります。マンガ聖書やマンガ偉人伝、日本・世界の歴史等の読み聞かせは、ジョセフにとって必須の楽しみの時間になりました。ここ2ヶ月かけて読んだのは、知人から原稿チェックを依頼された、明治以降の基督教の歴史のゲラ刷り原稿（『近代日本基督教史—荒野で叫ぶ者の声—（仮題）』まどかまこ）です。

日本のキリシタン史は、私の神学校時代の研究テーマの一つでした。戦国時代のリバイバルから、江戸時代のキリシタン迫害、そして明治以降の日本のクリスチャンの歴史はリバイバルと激しい迫害の歴史とも言えます。今回、興味を持って読み始めて、改めて注目したのは、大正・昭和初期の大リバイバルと、その後の弾圧です。リバイバルの熱狂は木っ端みじんにされ、国家権力や、時にクリスチャンのリーダーたちから恫喝され、神ではなく人を恐れ、偶像礼拝に貶められていく苦しみを、日本の多くのクリスチャンが体験しました。その「弱さと躓きと背信」は他山の石、教訓とすべきですし、それを赦し、主の証人とした「十字架と復活の主の勝利と聖書の言葉と福音の力と確かさの証し※」は、ホームスクーラーたちが心備えする時に必要なものです（※の言葉は、『ホー



主の道のために心の備え — ストレッチで準備

リネス・バンドの軌跡 リバイバルと基督教弾圧』序文より）。

イエス様の再臨まで、人間の歴史や過ちは繰り返されます。私は、今後日本にリバイバルは起こると信じます。キリストを爆発的に求める未曾有のリバイバルの時代は、来ると思います。神様の恵みとあわれみの中で。

しかしその後、やはり来るであろう強力な迫害の時に、今からホームスクーラーたちがしっかりと備え、今度こそ打ち破られず、日本・世界に福音を伝え続けていく心を強くしておく必要が示されます。

### ホームスクーラーの心備え

現代に生きる私たちホームスクーラーは、聖書においても、日本の江戸・明治・大正・昭和史においても、リバイバルと厳しい弾圧が繰り返されていること、そして、それがまた来るであろうことを深く心に刻み、子どもたちに教えていければと思います。

今、日本で、警察や行政等から「違法行為では」と疑われ、尋問されながら、信仰を強めて歩んでいるクリスチャンは少ない、あるいはホームスクーラー以外はいないのではと思います。それは、もちろん聖書的にも法的にも（憲法・教育基本法・教育機会確保法ほか）正しい行動であり、子どもたちにとってベストの教育として選択して行っているわけです。私は、そうした皆さんの勇気と信仰ある心を主にあって誇りに思っています。

「待ち望め。主を。雄々しくあれ。心を強くせよ。待ち望め。主を」（詩篇 27：14）と命じる神様によって、日々、世間に流されないように心を鍛えられていると思います。しかし、それは、単にホームスクーリングを進めるために「心を強くされている」わけではなく、「伝道・世界宣教」への心、日本に来るであろう、また来てほしい「リバイバルの時代」と、その後、必ず起こるであろう「迫害と背教の流れ」に屈せず、神様の喜ばれる道を選択し、多くの人々に福音を伝え続けていくためのものだと思います。そんなことを思い、祈り励まされながら、ジョセフと一緒にマンガ（『近代日本キリスト教史—荒野で叫ぶ者の声—』まどかまこ）を読ませていただきました。以下の聖句が響きます。

「荒野で叫ぶ者の声がある。『主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ。すべての谷は

うずめられ、すべての山と丘とは低くされ、曲がった所はまっすぐになり、でこぼこ道は平らになる。こうして、あらゆる人が、神の救いを見るようになる。』」（ルカ 3：4－6）

## 日本のリバイバルとその後の迫害

「日本のキリスト教会史は、ある意味ではリバイバルの歴史でもありました」（森山諭 イエス・キリスト荻窪栄光教会牧師 / 『ホーリネス・バンドの軌跡 リバイバルとキリスト教弾圧』ホーリネス・バンド弾圧史刊行会編第一部より）。

30万人もの殉教者（新井白石「西洋紀聞」）を出した、江戸時代の弾圧下のリバイバル。明治の幕開けとともに起こった、全国でのリバイバル。明治 16～17年のリバイバルは、「この勢いで前進すれば、日本は今後十年以内に、キリスト教国になるのではあるまいか」と言われたほどの躍進ぶりであったと言います。

## リバイバルを阻む2つの壁

その勢いは2つの壁でそがれます。第一は外部から。明治憲法と教育勅語です。天皇の神権を確立した明治憲法発布の日、文部大臣森有礼は伊勢神宮の神官に刺殺されました。「森がクリスチャンで信教の自由論者で、神道をほかの宗教に優越させることに反対」したからであると言われていています（前書 P44）。内村鑑三の不敬事件を始め、明治憲法、教育勅語とキリスト教は衝突するもので、違憲としてキリスト教撲滅運動が始まりました。

2番目の壁は、自由主義神学。「『イエスは神に最も近い教師である』『すべての人は救われている』という、聖書の無謬性とイエスの神性を否定する新神学に毒されて、キリストに対する『燃



神に向かって、まっすぐに走る！

える心』を失って、停滞・後退を余儀なくされた」  
(前書 P16)

外と内の二重の壁の押さえつけは、どのリバイバルの後にもやって来ます。

## 大正・昭和のリバイバル

しかしながら、日本でのリバイバルの炎は、消えたわけではありません。大正・昭和時代にも、リバイバルと言われる出来事が、驚くほどあちこちで起きています。

内村鑑三、中田重治らによる再臨運動、柘植<sup>つげふ</sup>不知人らのムーブメント、賀川豊彦の組合運動・神の国運動、山室軍平らの救世軍活動による公娼廃止運動や孤児院建設などの社会福祉事業、そして満州事変の昭和6年に神学生たちの祈りから始まり、中田重治らのリードで広がったホーリネス・リバイバル。

「再臨待望ととりなしの祈り」をスローガンとしたホーリネス・リバイバルにおいては、聖書学校の校庭に5000人収容の大天幕と小天幕約20個が張られ、大聖会が開かれていたとのことでした。

5000人集会は今でも簡単ではないと思います。現代は飛行機も新幹線も地下鉄も車もあり、交通手段の観点から言えば、比較的、容易に集まれます。一方、ホーリネス・リバイバルは、太平洋戦争への道を進んでいく満州事変の時代です。交通手段一つをとっても、集まるだけでも簡単ではなかったでしょう。それが5000人規模で集まっていたわけです。ワーワーといった熱気に満ち、当時のクリスチャンたちは、リバイバルに高揚していたと言います。

## 全ミッションスクールで偶像礼拝 —奉安殿での拝礼

そうした熱の中で、思想・信仰の支配を目的とし、逮捕・弾圧、最高刑として死刑にできる「治安維持法」が施行され、時代の流れは加速します。1930年代後半には、すべての私学、ミッションスクールで、御真影（天皇の肖像写真）と教育勅語が納められている奉安殿前で、拝礼が義務付けられ、偶像礼拝をしていくこととなりました。

## 文部省「国体の本義」配布と宗教団体法、 日本基督教団の結成と天皇を神とする国家 の翼賛 / 明治神宮参拝

昭和12年5月に文部省は「国体の本義」を配布、「天皇は、外国の所謂元首・君主・主権者・統治権者たるに止まらせられるお方ではなく、現御神<sup>あきつみかみ</sup>として…この国をしろしめし給う」とし、宇宙の最高神である天照大神の子孫で、現人神<sup>あらひとがみ</sup>である天皇は全世界を統治すべき方であるとの教えを強化するように命じました。全国のミッションスクールも受け入れて、「国体の本義」に沿って、生徒たちを指導していくこととなります。

昭和15年「宗教団体法」が施行され、信仰や教会活動は厳しく統制され、「宗教の自由」は失われます。同年秋には、クリスチャンの各団体約2万人が集まり、「皇紀2600年奉祝基督教信徒大会宣言」を出し、「神武天皇国を肇め給しより茲に二千六百年、皇統連綿として弥々光輝を宇内に放つ…一君万民尊厳無比なる我国体に基くものと信じて疑わず…進んで大政を翼賛し奉り尽忠報国の誠を致さんとす」と宣言しました。

つまり、キリスト教会は、天皇が神の子で現人神であるとの国体を信じ、皇国史観、軍国主義を追認、補完する団体として邁進<sup>まいしん</sup>する決議が宣言されました。集まった会衆は天皇を賛美する「讚美歌」を歌い、多くの人々がこぞって明治神宮を参拝。さらに、「教会教派の別を棄て合同一致を以て国民精神指導の大業に参加し、進んで大政を翼賛し奉り尽忠報国の誠を致さんとす」との声明を出し、国家の圧力の中で、プロテスタント33教派が合同教会となる日本基督教団を結成することを決定。天皇を神と信じる国家を翼賛していく声明を発表します。

## 代表の牧師たちが、伊勢神宮を参拝し、 天照大神に発展を祈る

昭和17年1月、日本基督教団統理の富田満牧師は伊勢神宮を参拝し、天照大神に「新教団の発足を報告し、その今後における発展を希願せら

れた」(『教団時報』第213号

日本基督教団1942年1月15日発行)という、愚かな偶像礼拝を行います。また、神社参拝を拒んでいた朝鮮の長老教会の120名の牧師、長老たちを平壤に集め、神社参拝を説得します。この富田牧師は、上記のリバイバルの一つ、賀川豊彦らと展開した「神の国運動」中央委員長です。



### リバイバルと弾圧 ーホーリネス弾圧事件

もちろん、このような牧師だけでなく、国に摘発され、命を失っても、信仰を守り通した牧師たちもいます。昭和17年に起こった「ホーリネス弾圧事件」です。治安維持法違反で、134名の牧師たちが検挙され、7名の牧師らが獄中等で命を落としました。

当時の日本基督教団の幹部は、その検挙を歓迎します。「彼らの熱狂的信仰は我々教団では手の下しようなないくらい気違いじみて

いるため、これを御当局において処断して下さい。これは、教団にとり幸いであった」「大局的見地からいえば、こうした不純なものを除去することによって日基督教団のいかなるものかが一段に認められて、今後の運営上かえって好結果がえられるのではないかと考え、当局の措置に感謝している」(「ホーリネス・バンドの軌跡」より)

1943年4月、文部省から教団に通知があり、富田満統理はホーリネス系の牧師たちに、自発的に辞任しなければ身分を剥奪する旨を伝え、辞職勧告を行い、教団は各教会を解散させます(日本基督教団執行部からは1967年「第二次大戦下における日本基督教団の責任についての告白」が出



第4回チアワクワク集中勉強合宿にて

されて悔い改めが宣言されています。一部からは、当時の厳しい状況を知らずに一方的な非難は不当といった要望書も出ています。「告白」は偶像崇拜の罪には触れられていないことが指摘されています)。

### 父から学んだふるさとへの殉教者 ー辻牧師とその息子さんの闘い

郷土史研究者である私の父は、ふるさと弘前のリバイバルと、辻啓蔵牧師が獄中死する弘前ホーリネス教会の事件等についても研究し、論文を出版しています。そうしたこともあり、「リバイバル」と「迫害」は私にはとてもリアルです。

弘前は、当時、伝道者を 200 人も生み、日本のナザレと言われ（『私の落穂拾い—昭和の庶民、そして陸羯南・安藤昌益』稲葉克夫より）、全国のリバイバル発祥の地の一つでした。150 人以上の献身者を出した教会もあり、私は学生時代、父の取材に同行し、その教会の礼拝に参加したこともあります。

また、東奥義塾のリバイバルで、クリスチャンになった佐藤勝三郎は、イング宣教師のクリスマスパーティーで食べたアメリカ産のりんごに感激。苗木の斡旋をイング宣教師に依頼し、アメリカから輸入。クリスチャン 8 人を含む 11 人で敬業社を起業し、リンゴ産業を興しました。同社の一人、長谷川誠三は、町の税金の半分以上を支払うほどになり、敬業社発のリンゴ産業は、今日のリンゴどころ、藤崎・板柳地方で発展、青森リンゴの繁栄の一翼を担ったとも言われます（稲葉克夫著『青森県の近代精神』より要約）。

青山学院の日本人初の院長で、当時の日本のキリスト教会をリードした本多庸一や、上記のホー

リネスムーブメントを起こした中田重治も、出身は弘前、津軽藩士の家庭でした。また、ホーリネス弾圧事件で獄中で命を落とした辻啓蔵牧師を父に持つ辻宣道牧師は、後の日本基督教団議長を務められました。

私の父は、静岡に住む辻宣道牧師取材していました。辻牧師は、中田重治の数多い孫の一人で、唯一、牧師となった人物でもあります。

以下、父の書からの抜粋・要約です。

長男の辻宣道は、父の死に様について、次のように記している。「父のなきがらを引き取りにいった日のことを、私は生涯、忘れない。…父は目を開いたまま、死んでいた。…みごとにやせこけた死体である。…わたしはその異様なやせ方に、りつ然として目をそむけた。…肉の無いからだだ。骨に皮がへばりついているだけだ。これがあの講壇の父のなれの果てか。…わたしの胸のうちを激しい憤りが熱湯のようにふきあげた」

辻啓蔵牧師の判決を聞き、裁判の経過を熟知し



チア・ジョイスイミング。初めて水に入った子から、アスリート、大人まで、祝福されて楽しんだ！  
「ボランティア講師陣 10 名がコーチング！ 水泳クラブより、充実してた！」

ていたのは妻の京（中田重治の娘）だけである。京はやりきれぬ憤まんをもって裁判所を往復した。啓蔵の答弁に怒りのまなざしを注ぎ続ける京であった。啓蔵は公判において述べた。「聖書絶対無謬ニ立つ信仰ヲ改メマス」「キリスト再臨ニ対シテ疑イヲ持チマス」「狂信的信仰ヲ白紙ニ返シ、清算シマス」

弁護士は、上告趣意書を提出した。そこには、聖書を道徳的教訓として信じるのみで、今後は牧師の職につかないこと、そして保釈中、倉庫係となって改悛悔悟の生活を送っていることを述べ、刑の軽減を願うとある。

京は公判中の夫の発言を厳しくなじった。中学1年の宣道は父の他出中に、上告趣意書の下書きを発見し、「…つぎつぎ目の前におどりでる文字はまことにふがいなく恥に満ちていた。特に「清算」という文字は深い衝撃を与えた。こんなことが書かれていいのか。中学1年の頭の中はあふれんばかりの疑惑と戸惑いに動転した」（辻宣道『嵐の中の牧師たち』より）。

この体験が辻宣道の原点だった。彼は父の獄死を世間が殉教ということに抵抗した。母、京（基

督兄弟団鎌池教会（千葉市）牧師で82歳で召天）の死の前日、宣道はその病床を訪れ、父啓蔵が下獄の前に言い残したことを確かめた。京は言った。「今度、出てきたら、自由に、拘束されずに伝道したいと言ってたわ」

辻宣道は父の晩年を知る人を片端から訪ね、聞き取りを始めた。そして、仁平静恵を訪ねあてた。…「あなたのお父さんはね、今度刑務所を出て来たら、また伝道を手伝ってくださいねって言ってたわ」

宣道は書いている。「私はそれを聞きたかったのです。官憲に圧殺され、かたちの上でキリストを裏切ったままにしておいてたまるか。帰り道で私は涙があふれてどうにもなりませんでした。少年の日に見た上告趣意書の下書き以来、父といっしょに屈辱の道を歩いてきたのです。私はしばらく感情をおさえたあと、晴々とした気持ちになりました」（前書 P190）

（以上、稲葉克夫『私の落穂拾い』から抜粋）



備えの時 - 「あらゆる人は、神の救いを見るようになる」（ルカ 3 : 6）

# チア・にっぽん 励ましとチャレンジセミナー2017 in 白馬



11/23【木】-25【土】

ホテル  
グリーンプラザ白馬



家族の絆の回復。

教育の原点、聖書に立ちかえる体験。

★北欧調リゾートホテルで和洋中60種類以上のバイキング

★11種の温泉・お風呂

★徹底学習（約50の基調講演・分科会）

★家族・教育の目的、情報、励ましとチャレンジが与えられます！

★家族・チャーチスクール・仲間との一生の思い出！

お待たせ  
しました！

6月のコンベンション2017の主講師として来日予定だったグレッグ・ハリス氏。  
肺炎により来日延期となっておりますが、遂に白馬セミナーへ！

主講師：Gregg Harris

グレッグ・ハリス氏

「聖書が教える恋愛講座」のジョシュア・ハリスのお父さん。全米で200万人を超えるホームスクーリングムーブメントを導いた、パイオニアの一人として広く知られている。ベストセラーとして読み継がれている「チャーチ&ホームスクーリング入門」の著者。

ソノ夫人（日系3世）と共に、ジョシュア・ハリスをはじめ7人の子どもたちをホームスクーリングで育てた。2007年白馬セミナー基調講演者。約10年ぶりに再来日！



## グレッグ・ハリス氏 Gregg Harris 講演予定トピック

●「なぜ、困難なことに立ち向かう子どもたちを育てるのか？」

私たちが、困難なことに立ち向かうように子どもたちを育てるべき多くの理由を検証していきます。

●「良い木 Vs 悪い木」

福音の中に人生を変える信仰がない、本物とは言えない単なる名ばかりのクリスチャンでいる危険性について考えます。

●「あなたが子どもたちを楽しむようになるまで訓練する」

自分の子どもたちを（愛するだけでなく）楽しむこと、また、毎日の生活の中で一緒にいて楽しい人になるように訓練することの重要性について見ていきたいと思えます。

●「子どもたちを巻き込む価値のある冒険に満ちた人生を送る」

困難なことに立ち向かっている良い模範となることの重要性を考えます。

●「子どもたちの退屈を楽しいことに活用する」

よくある退屈や孤独を用いて、子どもたちに困難なことに立ち向かわせる戦略を作り上げていきます。

●「子どもたちの分野においてソロモンを見つけ出す」

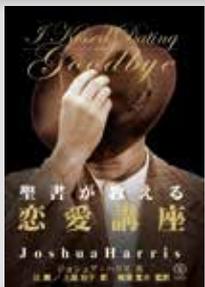
10代の子どもたちを困難に立ち向かおうと動機付けさせる、自分と同様に困難に立ち向かうヒーローを見つける方法を考えます。その人物との実際の関係を構築する重要性を確認します。

●「単なる消費者としてでなく、生産者として育てる」

簡単なビジネス・プロジェクトや週末の体験を用いて、私たちの10代の子どもたちに、市場において誰かのために良いことをすることで、どのように良い結果を生み出すことができるかを教えることの価値について検証します。

●「子どもたちに、もっと多く、より良いものを期待する」

私たち親が自分の子どもたちに対して持つことのできる否定的な期待と建設的な期待の力について明らかにし、私たちの悪い習慣や態度から抜け出す方法を学びます。



ミリオンセラー『聖書が教える恋愛講座』、『聖書が教える結婚講座』（ホームスクーリング・ビジョン社刊）等のジョシュア・ハリスの父、グレッグ氏は、『チャーチ&ホームスクーリング入門』（同社刊）でも世界にムーブメントを展開。



講師：Joyce Inouye M.A.ED.

ジョイス・イノウエ 女史

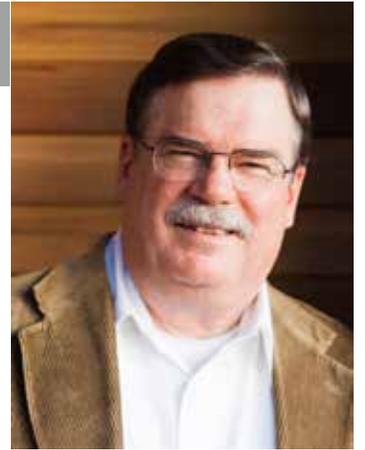
学習障害の専門家として、私生活でも2人の子どもたちの聴覚・視覚等の情報処理困難を診断し、訓練・克服させた。特別支援プログラムの講師。ラ・バーン大学の元教授。現在は、フレズノ・パシフィック大学院で指導しているほか、国内の何千人もの子どもたちを助け、教師やホームスクーラーを訓練して4年。白馬セミナー2017で、新たに6つの講演をできることを楽しみにしている。

好評につき、再掲載します！

特別寄稿

# 困難に立ち向かうように 子どもたちを育てる理由

グレッグ・ハリス



C.S.ルイスは、かつて次のように述べました。「私たちが多くを望んだからといって、神はそんなに気分を害されることはない。なぜなら、私たちはほんの少しの望みで満足してしまっているのだから」と。神は、キリスト者としての私たちの人生に最高の冒険を提供してくださっているというのに、私たちは、生ぬるい宗教的日常に満足していることはないでしょうか。

多くの親が、実際のところ我が子に多くを望んではおらず、この世の言う成功に甘んじている気がします。しかし、神は、私たちに高い目標を持っておられるのです。我が子のわずかな才能にスポットライトを浴びせようと躍起になっているステージ・ママとは違います。優れた宝石職人が、金、銀、宝石などの希少な原石の価値を知り、最良に磨き上げようとするように、神は子どもが持っている潜在力を理解し、その使命を果たさせようと高い志をもっておられるのです。私の7人の子どもたちは、お金では買えない宝物であり、私はそれぞれの子どもに、神が与えてくださる最高で最善のものを望んでいます。

では、高い目標を設定するとは、どういうことでしょうか。困難に立ち向かうように子どもを育てることで、私は一体何を達成しようとしているのでしょうか。

子どもたちが、十分読めるようになることでしょうか。いいえ、それでは満足しません。子どもたちには、時代を超えて偉大な著者たちと親しく語り合い、神が歴史の流れを変えるために用いた、過去の深い考えや真理を理解してほしいので

す。真に優れた書物、何より聖書を熱心に読む子どもたちになるよう励ましましょう。

息子や娘たちが単に正しいスペルで書けるようになれば、私は満足するでしょうか。いいえ。子どもたちには、それぞれが活躍する分野で熱心に取り組んでいる人たちと連絡を取り合うようになってほしいのです。もし文才があるなら、現代の重要課題に関する、知的で見事な書物を執筆させましょう。公私を問わず、多くの本を書く著述家へと導きましょう。誰かの書いた言葉を引用できるようにしてほしいですし、また彼らの書いた言葉が引用されるようになってほしいです。

単に筆記試験に合格するために、子どもに歴史を学ばせたいでしょうか。いいえ。子どもには、自分が生きている時代を理解し、銀行口座や投票所、そして実社会の戦場で直面するであろう人生の本当のテストに合格してほしいのです。

教育とは、単なる学問以上のものであり、道徳的人格を形成するものです。自己鍛錬は流行遅れかもしれませんが、決して役目が終わったわけではありません。子どもたちが単に優しく、態度が良く、ピア・プレッシャー（仲間からの圧力）から守られればいいとは、私は全く考えていません。C.S.ルイスの『ナルニア国物語』に登場するアスランは、ただの飼い慣らされたライオンではなく、正義のライオンです。私も自分の子どもたちには、ただのおとなしい人ではなく、正義の人であってほしいし、謙遜で伝道の心を持つ人間になってほしいと思っています。神を恐れない人たちの心を

神に向けさせるほどの影響力のある人に育てましょう。

では、結婚と子どもについてはどうでしょうか。私は子どもたちが皆、結婚することを望んでいますし、ジョナサン・エドワーズのように、忍耐強く、深く神に献身した大家族を築いてほしいと願っています。子どもたちの各家庭が、キリストの大使のチームとして献身し、輝くようにさせましょう。

経済面はどうでしょうか。子どもたちがいつか良い仕事に就けるなら、その会社の勤務体制がどれだけ大変で破壊的であっても、それで良いと言えるでしょうか。いいえ。私は、子どもたちがファミリー・ビジネスを始めたり、起業家になったりして十分な収入を得るのを見たいと願っています。今日、何百万という学生たちが、きちんとした仕事が見つかるようにと祈っているのです。それならば、我が子が彼ら全員を雇えるぐらいになるように、準備をさせるのはどうでしょうか。

一番大事な点は、もし子どもたちがまだ罪の中に死んでいて、神の約束から遠ざかっているなら、学業、道徳的人格、しっかりした結婚生活、大家族、経済的自由といったものは重要ではないということです。「罪にふけている世俗的な人間」を育てることがないように、神が私を助けてくださるよう願っています。キリストにある救いは、究極的に重要なことなのです。

偉人伝を読めば読むほど、敬虔な親は違いをもたらすことに気づきます。「三つ子の魂百まで」とあるように、子育てに賢く熱心に取り組むなら、子どもたちは同世代にキリストの影響を与える特別な存在となるかもしれません。でも、もし年老いたエリのように子育てに受け身で怠慢であるなら、私にとっても子どもにとっても悪影響を与えるでしょう。正しいことが何かを知っていることと、正しいことを実行することとは違います。行いのない信仰は死んでいるのです。信仰者であっても時に嘘を正当化してしまうほど、エリ精神は私たちの心に影響を与えています。自分のなすべき義務を理解し、神に従うことができるように私は神の恵みを求めます。

救いは聖別につながっていくはずですが、私は父親として、聖別においても担うべき役割があります。子どもたちがキリストへの信仰を告白し、私と一緒に教会に行くだけでは十分ではありません。生ぬるい者では役に立たないのです。私は、子どもたちの魂の暖炉で豊かに燃える、神の臨在に対する情熱の炎が見たいのです。子どもたちがキリストの弟子の心を持って育ち、御霊の実を結び、いつかリーダーとして仕えるにふさわしい者になり、共同体に必要なが生じた時には、勇気と信仰をもって神の国をしっかりと立て上げてほしいと願います。

「社会性はどうなのか？」と質問する人に対しては、ただ嘆くばかりです。社会性は、昔から両刃の剣でした。「知恵のある者とともに歩む者は知恵を得る。愚かな者の友となる者は害を受ける」(箴言 13:20)。年齢によって分断された社会性は愚かで害のあるものです。無知な仲間同士が集まると、服装、音楽、映画、そしてメディア消費などで愚かな選択をするようになります。それは文化的弊害にとどまらず、道徳的な弊害をもたらします。良識を失った若者文化という波に乗って、愚かさが次から次へと押し寄せて来るのです。

健全な社会性は、家庭や職場や教会において、自分より年上で知恵のある親、また家族と共に生活する時に育まれます。知恵のある者とともに歩むことはライフスタイルであって、プログラムではありません。それは、「昔からの通り道、幸いの道」(エレミヤ6:16)なのです。このようにして、それぞれの世代が次の世代を、神の持つておられる最高と最善に向けて導くことができるのです。

神の最高と最善——それこそが私が子どもたちに願っていることであり、子どもたちを困難に立ち向かうように育てる目的です。厚かましく聞こえたら許してください。でも、子どもたちがただ救われて回心し、教会の椅子に座っているだけの人間になってほしくないのです。伝道者と改革者の中に子どもたちが立つことを私は望んでいます。

それでは白馬セミナーで皆さんにお会いできることを期待しています。

## ジョイス・イノウエ女史 Joyce Inouye 講演予定トピック

### ●時間やエネルギーが無い時でも、子どもたちを祝福し続けるために

この分科会では、子どもの障害の有無にかかわらず、どのように子どもを祝福したらいいのかお話しします。ジョイス女史とリチャード氏は神に尋ね求めながら、時間やスケジュールをやり繰りし、混乱や疲れを克服して、3人の子どもたちを誕生以来（長男ギャレットさんは2歳から）18歳になるまで毎日祝福してきました。2014年のチア・コンベンションでは、長女のクリスティンさんが、毎晩どのように両親から祝福を受けてきたかを証しました。現在、長男ギャレットさん&シャノンさん夫妻は、生まれたばかりの娘、ワンダー・レイちゃんに祝福の祈りを始めています。戦場のような毎日の中で、どうしたら祈る気力を保ち続けることができるのでしょうか。ぜひこの分科会で、神が不可能を可能にくださった証をお聞きください。

### ●学習障害やADHD、自閉症に関連する感覚処理障害、前庭疾患、固有感覚障害、運動障害とは？

ADHD、前庭疾患、固有感覚障害、自閉症、学習障害（ディスレクシア、計算力障害、微細運動技能）に関する2017年8月の最新研究についてお伝えしながら、これらの知識がホームスクーリングの学習面にどのような影響を与えるか、お話しします。

### ●障害のある子どもたちと信仰的な会話、弟子訓練はできるか

親も子も様々なチャレンジに直面しますが、神の国の視点から見ることによって、そのすべてに答えを見つかることができます。神は「若者をその行く道にふさわしく教育せよ……」（箴言22:6）とおっしゃいました。この分科会では、「障害のある子どもとは信仰的な会話や弟子訓練ができない」という不信仰な考え方を払しょくしていきます。学習障害を抱え、じっと座ってられず、集中力が途切れやすい、あるいは興味が無いように見える子どもたちに、ホームスクーリングをする中でどのように神について語っていくのかお話しします。

### ●不安障害と、ADHDや自閉症、学習障害との関連性を認識し、ホームスクーリングを通して癒しをもたらす方法

「アメリカ不安・うつ協会」が2017年5月に発表したところによると、ADHDの成人患者のうち約50%が不安障害を抱えています。アメリカのADHD ナショナル・リソース・センターの推定では、ADHDの子どものうち30%が不安を覚える経験をしています。この分科会では、共存症（同時に2つ以上の疾患を有している状態）に関する情報をお伝えしながら、その症状の見分け方や、不安症状を癒すホームスクーリングの方法、逆に不安を高めてしまうホームスクーリングの進め方についてもお話しします。

### ●ADHD、学習障害の最新の研究結果を、ホームスクーリングに生かす方法

箴言11:14で神は次のように言われました。「指導がないことによって民は倒れ、多くの助言者によって救いを得る」。この分科会では、ADHDや学習障害、高機能自閉症に関する最新調査を分かち合い、どのような年間計画を立てればいいのか、また子どもを助けるために親が知っておくべきこと、さらに調査結果をどのようにホームスクーリングに生かしていくかをお話しします。お子さんに障害が無い場合でも、そのような方々を助けるミニストリーに携わるように、神さまは皆さんを招いておられるかもしれません。イエスさまの愛をもって彼らを助けていくために、今回の講演内容を知っておくことは益となるでしょう。この分科会で、皆さんの人生を変える重要な情報を得てください。

### ●イノウエ夫妻によるワークショップ

「子どもを祝福するとは」（金曜午後・予定）

夫妻に実演も踏まえて学びます。90分のセッション中、10分ずつ6セッション、祝福の祈りの時間を持ちます。そこで、祝福の祈りを受けたい方々を募集します。祝福の祈りは聖書的であり、他の方々を励ますものです。夫婦でご参加の方は、ぜひご夫妻で祝福を受けるよう勧めます。申込書は、チアの事務局そばにおきます。これは初めての試みです。参加される方は、祝福の祈りをどうぞ録音してください。アメリカではよく祝福の祈りを録音します。祈りがその時だけでなく、後で聞いて励ましとなるためにです。祝福の祈りはイエスキリストにある希望を思い起こさせます。夫妻が分科会の最後に、祝福の祈りの祈り方などをお伝えします。

## 分科会講演内容 Part1

### ■「次世代に伝えるべき命と性」

伊藤 こそえ

神様は私たちに命を与え、「生めよ。ふえよ。地を満たせ。創世記1：28」と創造の初めから祝福してくださっています。大人の私たちは、神様の愛と祝福を受け取っている者として、家庭で、教会で、地域で、この命と性の大切さを次世代にきちんと伝えることができているでしょうか。世の中に氾濫している歪んだ性情報によって、私たちの性に対する意識も知らず知らずの内に歪ませられ、どのように伝えていったらいいのか困惑しているのではないのでしょうか。聖書に基づく命の教育、若者たちを取り巻く現状、具体的にどのようにアプローチしていったらいいのか等、助産師としての臨床の現場からも一緒に考えていけたらと思っています。年齢差のある高校生、中学生、小学生三人との日常も少し分かち合えたらと思います。

### ■「チャーチ&ホームスクーリング

ー必ず聞かれる20の質問」

稲葉 寛夫

「チャーチ&ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は？」「微分、積分ができなくても教えられる？」「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって？」「週2時間からできるC&Hって？」。この17年の全国各地でのセミナーで多かったQ&Aをベースに8時間コースを50分に短縮した、一度は必修のコース！

### ■「私の思いは、あなたがたの思いと異なり…」

～ホームスクール11年目」

川嶋 康裕&しのぶ

読み書きを楽しんで覚えていく子どもの成長を見たい！将来、家族で病院船に乗って海外宣教に遣わされた時のために！と始めたホームスクールですが、私たちの思いとは異なり、紆余曲折を経て11年目を迎えています。途中3回の引越し、夫の単身短期医療宣教、妻である私の乳がん闘病と治療、次女のアフリカお供の旅、長男の進路、すべて神さまの哀れみによって歩んできました。子どもたちもそれぞれの段階で神さまから取り扱われ成長してきました。でも、一番成長さ

せられたのは親の私たちかも。多くの恵みを分かち合い、証できたらと思います。

### ■「虹って何色が知ってますか？」

衣笠 健三&葉子

なんと12年ぶりの分科会！その間に子どもは5人から7人に増え、それぞれ23歳、20歳、18歳、16歳、13歳、9歳、7歳に。ホームスクール15年間の歩みの中で、妻の燃え尽き、夫は育休からの辞職など、苦しみの中を通らされ、そこからの家族の回復を通して、それにまさる圧倒的な主の恵みを経験しました。主の憐れみで今も家族9人楽しくホームスクーリングを続けています^^“親もイエスさまからHSされている”“親も子もそれぞれの人生にすばらしい主のご計画がある”“本当に好きなことを見つける”等々、日々教えられていることを分かち合います！

### ■～つばめ便り～

「桐山家のホームスクール近況アップデート&13年のホームスクールを通して最近特に教えられている事」

桐山 壘&明日美

現在ホームスクール13年目の桐山家。完全に体育会系の我が家はバレエ（長女）にサッカー（長男・次男）に忙しく飛び回る上の子もたちとペースの違う下の子もたち（4歳&2歳）との狭間で息切れしそうな日々を送っています。分科会のお話をいただいた時には正直「こんな我が家に何が話せる？」と思ってしまいましたが、その後主人と頂いた恵みを数えてみると出てくる出てくる…！！今回はそんな我が家が頂いた恵みの中から最近特に教えられているいくつかのことを感謝と共にお分かちしたいと思っています。（・子供たちを地の塩、世の光として育てるー社会でもインパクトを与えるホームスクーラー、・年齢差のある子どもたちを同時にホームスクールするには？・ライフマネジメントの大切さ・夫婦の関係>子どもとの関係・安息の大切さ・子供たちのモチベーションを保つには？etc.）

### ■「岩の上に家を建てる」

ギンター マイケル&千為子

子どもたちをホームスクーリングによって育てることは大きな喜びであり、素晴らしい恵みですが、その過程においては、実際様々な困難や試練があると思います。しかし神様は時にかなった方法で私たちに知恵を与えてくださり、道を開いてくださいます。この時間は神様に賛美を捧げ、皆様からのQ&Aをお受け

する時間とさせていただきたいと思います。私たちが知恵の心と判断する心を神様から頂き、愛と希望をもって、力強く前進することができるよう祈っています。

### ■「良い関係」 清野 基&百合子

・子どもを愛しづらい。・受け入れがたい子どもの言動と行動がある。・従順を教えているつもりが、支配していた。・子どもが親の顔色を窺っている。・どうしても怒りを抑えられない。・子どもに信頼されていない気がする。・子どもの言葉に傷ついてしまう。などなど…。ホームスクールなのにこれでは…ではなく、ホームスクールだからこそ、罪と弱さが取り扱われるチャンスが多いと、前向きにとらえて、良い家族関係を築くために必要な事を共に学びましょう。

### ■「誘惑から解放されるために —父が息子と共に学べること—」 棚田 伊作&加代子

二人の子どもをホームスクーリングをして9年目、小学2年生から学び始めた長男は16歳になりました。私たちが10代の頃を思い返せば、性的な誘惑に非常に関心を持ち、神様の前で罪を犯し続ける弱い者でした。そんな私たちの息子にも、サタンはインターネットやスマホを使って巧みに攻撃を仕掛けています。弱い男の代表である父親が、息子のためにどう備えたら良いのでしょうか。誘惑に対してどのようにして向き合えばよいのか、我が家の体験談をシェアしつつ、実践していることを紹介したいと思います。

### ■「家族でできる文書配布伝道」 田村 正幸

「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を述べ伝えなさい。」これが、クリスチャンとして生きる者に与えられた、主の命令です。ホームスクールをして子どもを育てる目的がここにあります。あなたのホームスクールのカリキュラムに「伝道」という科目を入れてほしいのです。それは、子どもの成長に大きく役立つ主の教育カリキュラムです。その例として伊勢崎キリスト集会で展開する「東京路傍伝道」について紹介します。また、ホームスクールの教育教材についても「フェリーチェ玉村国際小学校」の取り組みを交えて紹介します。

### ■「大事なことは何か？」 正しい選択はいつも聖書にあった！」 南雲 信幸&恵理子

恵理子は独身時代にチア・スタッフに導かれ、信幸は結婚を前提としたお付き合いの中で、ホームスクーリングという神の教えを知りました。聖書は私たちに、人任せではなく親自身が責任を持って子どもに教え込むことを命じています。それは主が私たちに祝福する為に与える、唯一の方法です。ホームスクーリングに導かれた我が家の取り組みを振り返り、何かお役に立つことを見つけていただけたら嬉しいです。

### ■「On “Loving God” 神を愛するということ」 ピーター・ブロックソム

クリスチャン家庭で、子どもたちは「神は愛である」ことを聞きながら育ちます。しかし、私たちは親として、子どもたちに「神を愛する」ことを教えることが、どれほどできているのでしょうか。クリスチャン教育において神への恐れや服従がしばしば強調される中、私たちが育てているのは、従順なパリサイ人なのか、真に十字架を愛するものか、どのように判断することができるのでしょうか。ホームスクール、またキリスト教学校で育った息子からの一本の電話が、私たちが子どもたちに教えていること、またそれが世代間でどのように伝わっていくのかについての新しい知見をもたらしてくれました。当分科会が、確かに存在する問題への解決策を提示するには至らないまでも、その原因を突き止め、私たちが子どもたちにとっての、「神を愛する人」の手本となる一助になることを願っています。

### ■「えっ！いつまでやったらいいの？ ホームスクーリング！」 森山 剛&有佳子

そう言えば…ホームスクーリングのゴールって？いつまでやったらいいの？高校卒業認定合格まで？大学に入ったから終わりなの？そのようなことを考えたことはないでしょうか。既に始めておられる方、これから始めようかとお考えの方々、神様に与えられたお子さんを主の教育で育てていく上で、目標やゴールをセットしていくことはとても重要だと思います。長女が18歳になり、今後の進路を決定していく段階になったこと。同世代の知り合いのホームスクールのお子さんが既に大学に行かれたり、また、これから大学や専門学校に入られることを耳にしていくなかで、長男13歳と次女8歳のHSを改めて見つめ直す機会となっています。これまでの経験と、大学生宣教団体スタッフとして、学生同士や大学生活から受ける影響と対策を踏まえ、私たちが考えているホームスクーリングのゴールを分かち合わせていただきたいと思います。

♪おすすめ♪  
**格安チャーターバス（東京・大阪）**  
**※完全予約制**

1人でも多くの方が参加できるよう、  
 チアからの精一杯の応援です！  
 ※先着順 9名以上で運行

●**東京往復**

(大人 / 中高生 **¥8,500**、小学生 / 幼児 **¥7,500**)

11/23 東京 8:00 → ホテル 14:00

11/25 ホテル 13:30 → 東京 18:00

●**大阪往復**

(大人 / 中高生 **¥9,980**、小学生 / 幼児 **¥8,500**)

11/23 大阪 6:30 → ホテル 14:20

11/25 ホテル 13:30 → 大阪 19:30

★☆☆**ホテル無料送迎バス**☆☆★

(長野・南小谷・白馬乗鞍)

**※完全予約制**

<行き>

●長野駅 12:00 発 (約 90分)

●南小谷駅 12:00 発、13:00 発

●白馬乗鞍バス停 12:45 発

<帰り>

ホテル出発時間

●長野駅行き 13:20 発

●南小谷駅行き 13:40 発

格安チャーターバス (先着 50 名) & ホテル送迎バス申込書  
 FAX 03-6862-8648 Eメール office@cheajapan.com (締切 11/16)

代表者お名前 ( ) 乗車人数 ( ) 名 携帯番号 ( )

ご希望のバスに○をつけて下さい 東京バス 大阪バス ホテル送迎バス (※↓)

※ホテル送迎バスの方は、ご希望の場所をご記入ください。 行き ( ) 帰り ( )

## 一般の交通手段のご案内

会場・宿泊先所在地：ホテルグリーンプラザ白馬

長野県北安曇郡小谷村千国乙 12860-1

アクセス情報→ [www.hgp.co.jp/inf/Z01/hgp/access.html](http://www.hgp.co.jp/inf/Z01/hgp/access.html)

### ★★★電車★★★

新宿駅 (中央本線特急 3 時間 39 分) - 南小谷駅 (片道 ¥7,780 ~)

名古屋駅 (中央本線特急 3 時間 45 分) - 南小谷駅 (片道 ¥6,910 ~)

大阪駅 (北陸本線特急 4 時間 18 分) - 糸魚川駅経由 (片道 ¥10,800 ~)

各方面から新幹線 + 路線電車 - 長野駅

●各駅から無料送迎バス (右上参照)

### ★★★高速バス★★★

バスタ新宿南口発 7:35 → 白馬町駅着 12:43 (片道 ¥4,850 ~ / 往復 ¥8,700 ~)

バスタ新宿南口発 7:55 → 長野駅着 11:38 (片道 ¥4,800 ~)

新潟駅前発 7:45 → 長野駅着 11:10 (片道 ¥3,290 ~ / 往復 ¥5,970 ~)

大阪・京都・神戸方面 → 長野駅 (片道 ¥6,000 円 ~)

●各駅から無料送迎バス (右上参照)

### ★★★自動車★★★

中央自動車道経由・長野自動車道安曇野 I C から国道 148 号線約 60 km 約 90 分

上信越自動車道長野 I C よりオリンピック道路・国道 148 号線経由約 60 km 約 90 分

北陸自動車道経由糸魚川 I C から国道 148 号線 約 40 分 ※駐車場完備です！

### ★★★新幹線【東京一長野】★★★ (片道 ¥7,680 ~)

行き (11/23) 東京駅発 (あさま 605 号) 9:44 → 長野駅着 11:33 (●送迎バス 12:00 発)

東京駅発 (かがやき 509 号) 10:24 → 長野駅着 11:44 (●送迎バス 12:00 発)

帰り (11/25) ●送迎バス 13:20 ホテル発 長野駅発 (はくたか 566 号) 15:20 → 東京駅着 16:52

長野駅発 (あさま 622 号) 15:23 → 東京駅着 17:12

## ★早期申込特典★ 「聖書に基づく教科書」 「単行本」プレゼント

11月9日までにお申込み＆入金済みの大人の方に、「聖書6」「聖書10」「聖書11」（各3,024円）、「りか3」（2,376円）、「社会性のワナ」「世界の始まり」「キレルこどもたち」（各1,728円）、「レガシー」（2,036円）、DVD聖書、マガジン10冊（1冊540円）の中から、いずれか1種類、もれなくプレゼント！\*大人2名分で各教師用ガイドもOK！



## 白馬での自主企画、 好評につき今年も開催決定！！



☆こぞって応募ください。スペースに限りあり。

➡お早目にチア・オフィスまでお申し込みください！

### <白馬セミナー2016>

- ・金喜望 シフォンケーキ
- ・セイヤー フィリピンの宣教企画
- ・棚田伊作 消しゴムスタンプ
- ・稲葉ジョセフ ジョセフクッキー

### <コンベンション2017>

- ・藤本道子 英語での創作絵本
- ・辻創 絵本翻訳
- ・稲葉ジョセフ&伊澤キッズ 子どもカフェ
- ・乾親子 みことばプレスレット
- ・金喜望 シフォンケーキ
- ・奈良珠光 賜物SHOP

## 初企画！第1回 チア・賛美 作詞・作曲コンテスト ミニ！

オリジナル賛美曲のコンテストに挑戦です。プロ・アマ・年齢、問いません。作詞・作曲された曲を収録・アレンジくださり、ご応募ください。神様を賛美する曲であれば、ジャンルは自由です！

既に発表済み、CD発売済みの曲でもOKです。将来、入賞曲のCD化、WEBアップ等のために、著作権をご提供いただければ感謝です。(CD・WEB等、限定OK!)

締切：11月18日（土）チア・にっぽん事務局必着

\* 応募音源は郵送またはメールで受け付けます。

\* 作品の返却はありません。

送り先：〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103

チア・にっぽん事務局「作詞作曲係」

office@cheajapan.com



入賞作品は、白馬セミナーにて発表します♪  
今年もトライアルです。  
どなたでも、こぞってご応募ください！

## 第10回「レースカーグランプリ大会！」開催！



自作のレースカーで競い合うグランプリ大会を、今年も白馬セミナーで開催します!! 白馬でもキットを販売しますので、2日目夜までに完成させての参加もOKです(税込980円)。参加資格は、今年度制作のレースカー、重量は185g以下。重り等を加えることはルール違反となりますので、ご注意ください! 今回も「スピード部門」「美術部門」の2部門で競います。「美術部門」コンテストの郵送受付は11月9日(木)まで。郵送先はチア事務局へ(白馬参加の皆様はご持参ください)。作品は白馬セミナーで展示し、優秀作品は表彰させていただく予定です。

レースカーキットは、誰でも作れます! 形や色も工夫できます。車軸は差し込むだけなので、トンカチも必要なし。お母さんや小さい子どもたちでもできる楽々セットです。気軽に、こぞってご参加ください! 工作・技術の向上はもちろん、素晴らしい家族の思い出にもなりますよ!

現在、キットの申込を受付中です。ご希望の方は、下記の申込書でお申し込みください。

レースカーキット購入申込書  
FAX 03-6862-8648 Eメール office@cheajapan.com

お名前 ( ) 携帯番号 ( )  
住所 (〒 )

レースカーキット 980円 × ( ) 台 = ( ) 円

※ 5,000円以上のお買い上げで送料無料。通常5,000円未満の場合は送料400円がかかります。(沖縄・北海道は別)

※ 商品発送時に、郵便振替用紙を同封しますので、チアにつぼん 00190-3-35461 までお振込み下さい。

## 第11回 チア・につぼん杯 読書感想文大会 募集中!

良書を読むこと、感想文を書くことは、神さまの栄光を現す力となります。昨年も34作品の素晴らしい作品の数々が寄せられました。今年もたくさんのご応募、お待ちしております!

◆対象作品：チア書籍あるいは三浦綾子作品(どれでもOK)「ソウル・サーファー」

「イエスさまと十字架」「明泉学園の聖書絵本」もOK

◆部門：(1) 幼稚園の部(200～600字) (2) 小学生の部(400～1600字)

(3) 中高生の部(800～2000字) (4) 一般の部(800～2000字)

◆締切：11月9日(木)

◆発表・授賞式：11月23日(木)夜7時 白馬セミナー会場(予定)

◆送り先：〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103

チア・につぼん事務局「読書感想文係」

(※メールでも受け付けています → office@cheajapan.com)

★読書感想文の裏に、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・FAX番号・メールアドレスをご記入下さい。

## ♪チアオリンピックアンケート♪

9/9(土)府中市民陸上競技場で行いましたチアオリンピックの参加者の声をお届けします！



\*\*\*\*\*大人\*\*\*\*\*

●本当に素敵な一日をありがとうございました！青空の下でホームスクーラーの兄弟姉妹と共に過ごす一日は最高でした。今回私はお休みする予定でしたが、チアのスタッフの皆さまの言葉に励まされて、競技場でお休みさせていただきました。家よりもずっとリフレッシュでき、思い切って出かけることができ、本当によかったです。わざわざ、声をかけてくださって、ありがとうございました。競技に出ないでのんびり過ごしていたので、ホームスクーラーの子

どもたちのさりげない優しさや伸び伸びとした明るさ、そして、礼儀正しさを、随所で垣間見ることができ、その姿にとっても感動し、励まされました。この子どもたちが成長した将来を想像し、ホームスクールが、本当に尊い働きであることを、再実感しました。久しぶりにお会いする方々とお話しする機会も与えられ、心身ともにリフレッシュできました。労してくださったスタッフの皆さま、本当にありがとうございました。

(東京 Aさん)

●数年ぶりの参加でしたが、今回参加出来てとても良かったと親子

共々感じています。疲れた時のもう一踏ん張りが出来なっていた長男でしたが、今回、自分の限界を超えられた！と話していました。正直、普段の様子をみているこちらとしては、結果はさておき、天を見上げていくことが大切だよと話していました。けれど、終わりにはたくさんのメダルを頂いて帰り、自分の部屋に堂々と飾っています。そして、わくわく勉強合宿にも参加するか改めて長男に聞いてみたところ、当初は「そんな勉強づくめなのなんて、全然わくわくじゃないよ！」とぼやいていたのに、「今回自分の限界に挑戦できたから、勉強の限界にも挑戦し

てみようかな」と、参加を決意したようです。共に走った仲間たちが、ただ単に競争相手ではなく、主にあって共に励まし合える仲間であることに、神様のあたたかな御手に守られていると感じました。来年は親の私も限界に挑戦できるように、備えて行きたいと思っています。貴重な機会をありがとうございました。

(埼玉 Bさん)

●オリンピック、とても楽しく、子どもたちのポテンシャルの高さに励まされる、本当に感謝な一日でした！息子が5年生になり、健全な競争と、友だちと関わる機会が、このように、あることが、ありがたいことだと、つくづく思いました。兄に活躍の場が与えられたことで、妹にもスイッチが入ったように思います。また、皆さんの、裏で、表でご奉仕して下さる姿が、いずれ自分のなっていく姿となって、これからの目標として輝いてくださったことも、ほんとうに感謝でした。息子は、来年も絶対に出たい！と張り切っています。紙に書いて貼っておこうと思います。お働きを心から感謝します！

(埼玉 Cさん)

●3位でも4位でも再度チャンスがあるというのは、よく考えられていると思いました。また、参加への声かけもあり、入りやすいWelcomeの雰囲気があり素晴らしいと思いました(初参加だったので)。こんなに沢山のメンバーと行えるのはとてもよい機会でした。走りが遅くても、人と比較して落ち込むことなく、良い刺激と

して自分の頑張りに繋げ、ベストを最後まで尽くし続ける姿に感動しました。また、励ましとなる声援が自然に子どもたちからもあがっているので素晴らしいと思いました。こんなに素晴らしい企画に参加させてくださりありがとうございました。陰で仕えてくださったチアスタッフの方々、ボランティアスタッフの方々に心より感謝いたします。

(埼玉 Dさん)

\*\*\*\*\*子ども\*\*\*\*\*

○今までで一番楽しいチア・オリンピックだった。新しい友だちがたくさんできて、昔からの友だちとももっと仲良くなれて、とてもよかった。いつもスタートダッシュの時にはお祈りをするのだけれど、750m走の途中、とても苦しかった時にも、神様にお祈りをしたら力がわいてきて、イエス様のためにベストを尽くそう、という気持ちになって、どんどん走れるようになった。ありがとうございました！

(東京 Eくん 9歳)

○金と銀と銀を取れて、とてもうれしかった。750mはとても難しかったけれど、みんなの応援で本当にやる気が出て、結構速く走れた。50m走もとても難しかった



たけれど、走る勇気を出して、横を見ないで、自分のゴールラインを見つけて、そこまでがんばるぞ、と思って走って、すごくよかった。ありがとうございました。

(東京 Fさん 5歳)

○チア、オリンピック、楽しかったです。100メートルで3位を取れて良かったです。リレーは3位だったけど、みんなが頑張っていたので良かったです。今年はあんまりトレーニングできなかったけど、来年はもっとトレーニングをして挑みます。来年も頑張ります。(千葉 Gくん 9歳)

○とても楽しい時間となりました！みんなで運動することができたことが何より良かったです！普段会えない人たちにも会えて、交わりを持てたことが良かったです！(神奈川 Hくん 16歳)

# ★ 第 7 回 千 年 オ リ ン ピ ッ ク 結 果 ★

<p>【男子 25 m (1-3 才)】</p> <p>1 才 1 松岡 矢道</p> <p>2 才 1 梅崎 仰人 2 清野 幸 3 桐山 頼人</p> <p>3 才 1 北尾 賢人 2 中上 将太</p>	<p>年長 1 伊澤 真理 .....</p> <p>【男子 50 m ハーフ (年少・年中・年長)】</p> <p>年少 1 菅野 光 2 佐々木 光</p>	<p>3 清野 嗣</p> <p>中 2 1 亀井 義和喜 2 植野 平良</p> <p>高 3 1 藤本 峻多</p> <p>青年 1 松岡 基 2 小畑 望 3 衣笠 生</p> <p>親 1 梅崎 嶺人 2 菅野 陽 3 関 智征</p>	<p>【男子 100 m ハーフ (小 1 ~)】</p> <p>小 1 1 衣笠 上羽 2 小塚 恵太 3 菅野 優人</p> <p>小 3 1 稲葉 ジョセフ</p> <p>小 6 1 志賀 雄信 2 伊澤 慎太郎 3 清野 嗣</p>
<p>【女子 25 m (1-3 才)】</p> <p>2 才 1 平岡 礼愛 2 高橋 ことは 3 シグリスト 真 .....</p>	<p>【女子 50 m ハーフ (年少・年中・年長)】</p> <p>年少 1 小塚 みよ 2 シグリスト 恵 3 堀井 るみ子</p> <p>年中 1 高木 のゆり 2 川邊 実結喜 .....</p>	<p>【女子 100 m (小 1 ~)】</p> <p>小 1 1 ベントリー 舞華</p> <p>2 平岡 褒乃歌</p> <p>3 志賀 実結</p> <p>小 3 1 佐藤 樹梨 2 藤本 愛実 3 加部 桃子</p> <p>小 5 1 植野 叶恵 2 藤本 心恵 3 鄭 譔翰</p> <p>小 6 1 佐藤 花梨 2 高木 いのり 3 赤津 憐実</p> <p>中 2 1 鄭 祈燃</p> <p>中 3 1 藤本 真利花</p> <p>高 1 1 鄭 宝宴</p> <p>高 2 1 堀井 汀</p> <p>高 3 1 北尾 乃亜</p> <p>親 1 竹内 妙 2 梅崎 良香 .....</p>	<p>【女子 100 m ハーフ (小 1 ~)】</p> <p>小 3 1 加部 桃子 2 今 琉都</p> <p>高 1 1 伊澤 響子</p> <p>青年 1 堀井 帆南 .....</p> <p>【男子 200 m (小 2 ~)】</p> <p>小 1 1 菅野 優人</p> <p>小 3 1 桐山 牧人 2 平岡 徒光 3 佐藤 光</p> <p>小 4 1 堀井 大使 2 北尾 真徒 3 オモルイ</p> <p>ディバインデスティニー</p> <p>小 5 1 堀井 和生 2 桐山 呼人</p> <p>小 6 1 藤原 佑希也 2 高橋 聖一郎 3 志賀 雄信</p>
<p>【男子 50 m (年少・年中・年長)】</p> <p>年少 1 藤本 勇多 2 関 息吹 3 佐々木 光</p> <p>年中 1 志賀 恵信</p> <p>年長 1 堀井 陽 2 佐藤 風河 3 竹内 歩</p>	<p>【男子 100 m (小 1 ~)】</p> <p>小 1 1 小塚 恵太 2 衣笠 上羽 3 中上 勇治</p> <p>小 3 1 平岡 徒光 2 桐山 牧人 3 佐藤 光</p> <p>小 4 1 オモルイ</p> <p>ディバインデスティニー</p> <p>2 小塚 新之介</p> <p>3 堀井 大使</p> <p>小 5 1 桐山 呼人 2 堀井 和生</p> <p>小 6 1 藤原 佑希也 2 志賀 雄信</p>	<p>【女子 50 m (年少・年中・年長)】</p> <p>年少 1 堀井 るみ子 2 小塚 みよ 3 シグリスト 恵</p> <p>年中 1 清野 奏 2 高木 のゆり 3 川邊 実結喜</p>	<p>.....</p>

- 中2 1 亀井 義和喜
- 高3 1 藤本 峻多
- 青年 1 松岡 基
- 2 衣笠 生
- 3 小畑 望
- 親 1 梅崎 嶺人
- 2 関 智征
- 3 桐山 壘

【女子 200 m (小2~)】

- 小3 1 佐藤 樹梨
- 2 藤本 愛実
- 3 今 琉都
- 小5 1 藤本 心恵
- 2 鄭 謠翰
- 小6 1 佐藤 花梨
- 2 高木 いのり
- 中2 1 鄭 祈燃
- 中3 1 藤本 真利花
- 高3 1 北尾 乃亜
- .....

【男子 400 m (小2~)】

- 小3 1 桐山 牧人
- 2 平岡 徒光
- 3 今 琉加
- 小4 1 堀井 大使
- 2 オモルイ
- ディバインデスティニー
- 3 関 恵吾
- 小5 1 堀井 和生
- 2 桐山 呼人
- 小6 1 藤原 佑希也
- 2 高橋 聖一郎
- 3 志賀 雄信
- 中2 1 亀井 義和喜

- 高3 1 藤本 峻多
- 青年 1 松岡 基
- 2 衣笠 生
- 3 小畑 望
- 親 1 梅崎 嶺人
- 2 関 智征
- 3 稲葉 寛夫

【女子 400 m (小2~)】

- 小3 1 佐藤 樹梨
- 2 今 琉都
- 小5 1 鄭 謠翰
- 小6 1 佐藤 花梨
- 中2 1 鄭 祈燃
- 高1 1 鄭 宝宴
- .....

【男子 1500 m】

- 小学生以下
- 1 高橋 聖一郎
- 2 堀井 大使
- 3 桐山 呼人

中学生以上独身

- 1 藤本 峻多
- 2 松岡 恵悟
- 3 衣笠 生

親

- 1 梅崎 嶺人
- 2 菅野 陽
- 3 菅野 律哉

【女子 1500 m】

- 小学生以下
- 1 藤本 心恵

- 2 植野 叶恵
- 3 鄭 謠翰

中学生以上独身

- 1 伊澤 響子
- 2 野瀬 真理枝
- 3 藤本 真利花

親

- 1 藤本 由美
- 2 堀井 ユリ
- 3 小塚 仁礼
- .....

【男子 1500 mハーフ】

- 小学生以下
- 1 伊澤 雄平
- 2 菅野 敬遣
- 菅野 仕
- 3 小塚 新之介

【女子 1500 mハーフ】

- 小学生以下
- 1 清野 奏
- 2 伊澤 真理
- 3 平岡 褒乃歌

中学生以上独身

- 1 衣笠 光

親

- 1 菅野 幸
- .....

【男子ソフトボール投げ】

- 小学生低学年
- 1 稲葉 ジョセフ

- 2 桐山 牧人
- 3 平岡 徒光

小学生高学年

- 1 藤原 佑希也
- 2 高橋 聖一郎
- 3 オモルイ

ディバインデスティニー

- 堀井 和生

中学生以上独身

- 1 松岡 基
- 2 松岡 恵悟
- 3 植野 平良

親

- 1 北尾 和也
- 2 高木 康至
- 3 佐藤 尚樹

【女子ソフトボール投げ】

小学生低学年

- 1 加部 桃子
- 2 ベントリー 舞華
- 3 今 琉都

小学生高学年

- 1 高木 いのり
- 2 植野 叶恵
- 3 赤津 憐実

中学生以上独身

- 1 衣笠 もえ
- 2 衣笠 みくに
- 3 堀井 汀

親

- 1 高橋 可奈絵
- 2 ベントリー 容子

3 菅野 千春  
.....

【男子ジャベリックスロー】

小学生低学年

- 1 桐山 牧人
- 2 佐藤 光
- 3 稲葉 ジョセフ

小学生高学年

- 1 堀井 大使
- 2 堀井 和生
- 3 オモルイ

ディバインデスティニー

中学生以上独身

- 1 藤本 峻多
- 2 中村 義也
- 3 小畑 望

親

- 1 佐藤 尚樹
- 2 竹内 進
- 3 桐山 壘

【女子ジャベリックスロー】

小学生低学年

- 1 加部 桃子
- 2 ベントリー 舞華
- 3 植野 らん

小学生高学年

- 1 後平 恵子
- 2 植野 叶恵
- 高木 いのり
- 3 鄭 謠翰

中学生以上独身

- 1 堀井 汀
- 2 衣笠 みくに
- 3 衣笠 もえ

親

- 1 竹内 妙
- 2 菅野 千春
- 3 小塚 仁礼
- .....

【男子走り幅跳び】

年少・年中・年長

- 1 堀井 陽
- 2 志賀 恵信
- 3 松岡 裕貴
- 中上 将太

小1・小2

- 1 松岡 正心良
- 小塚 恵太
- 2 衣笠 上羽
- 3 関 翼

小3・小4

- 1 オモルイ

ディバインデスティニー

- 2 堀井 大使
- 3 稲葉 ジョセフ

小5・小6

- 1 堀井 和生
- 2 高橋 聖一郎
- 3 桐山 呼人

中学生以上独身

- 1 松岡 恵悟
- 2 小畑 望
- 3 植野 平良

親

- 1 梅崎 嶺人
- 2 菅野 律哉
- 3 稲葉 寛夫

【女子走り幅跳び】

年少・年中・年長

- 1 川邊 実結喜
- 2 伊澤 真理
- 3 堀井 るみ子

小1・小2

- 1 植野 らん
- 2 平岡 褒乃歌
- 3 ベントリー 舞華

小3・小4

- 1 佐藤 樹梨
- 2 今 琉都

小5・小6

- 1 植野 叶恵
- 2 鄭 謠翰
- 3 高木 いのり

中学生以上独身

- 1 北尾 乃亜
- 2 衣笠 もえ
- 3 堀井 汀

親

- 1 能登 麻里
- 2 小塚 仁礼

★★★★★★★★★

●男子総合

【小学生以下】

- 1 堀井 大使
- 2 堀井 和生
- 3 オモルイ
- ディバインデスティニー
- 桐山 呼人

【中学生以上独身】

- 1 藤本 峻多
- 2 松岡 基
- 3 松岡 恵悟

【親】

- 1 梅崎 嶺人
- 2 菅野 律哉
- 3 桐山 壘

●女子総合

【小学生以下】

- 1 高木 のゆり
- 2 植野 叶恵
- 3 加部 桃子

【中学生以上独身】

- 1 堀井 汀
- 北尾 乃亜
- 2 鄭 祈燃
- 3 衣笠 もえ

【親】

- 1 小塚 仁礼
- 2 竹内 妙
- 3 高橋 可奈絵

★★★★★★★★★

# ★ 第 2 回 ジョイスイミング 結果 ★

9/21・22 わくわく勉強合宿中に行いましたジョイスイミングの結果発表です！

<p>●クロール 25 m</p> <p>【男子】</p> <p>小2 1 鈴木 天兵 小3 1 稲葉 ジョセフ 小4 1 伊澤 雄平 小6 1 高橋 聖一郎 2 伊澤 慎太郎 3 堀井 大使 中2 1 植野 平良 2 森山 満音 高1 1 竹橋 一生 高3 1 ウメジエゴ           ダニエル 大人 1 稲葉 寛夫</p> <p>【女子】</p> <p>小3 1 佐藤 樹梨 小5 1 成瀬 恵美 2 植野 叶恵 小6 1 高木 いのり 中2 1 竹橋 光 2 トウール 彩実 3 イヒエ真友           ヴェネッサ 大人 1 堀井 祥子</p> <p>●クロール 50 m</p> <p>【男子】</p> <p>小6 1 高橋 聖一郎 中2 1 植野 平良 2 森山 満音 高1 1 竹橋 一生 高3 1 ウメジエゴ           ダニエル 大人 1 稲葉 寛夫 2 中上 勝雄</p>	<p>【女子】</p> <p>小5 1 成瀬 恵美 小6 1 高木 いのり 中2 1 竹橋 光 2 トウール 彩実 大人 1 堀井 祥子</p> <p>●平泳ぎ 25 m</p> <p>【男子】</p> <p>小2 1 鈴木 天兵 小3 1 稲葉 ジョセフ 小6 1 高橋 聖一郎 2 イヒエ愛生           デヴィット 中2 1 植野 平良 2 森山 満音 高1 1 竹橋 一生 高3 1 ウメジエゴ           ダニエル 大人 1 稲葉 寛夫</p> <p>【女子】</p> <p>小3 1 佐藤 樹梨 小5 1 成瀬 恵美 小6 1 高木 いのり 中2 1 竹橋 光 2 トウール 彩実 3 イヒエ真友           ヴェネッサ</p> <p>●平泳ぎ 50 m</p> <p>【男子】</p> <p>中2 1 植野 平良 2 森山 満音 高1 1 竹橋 一生 高3 1 ウメジエゴ</p>	<p>          ダニエル</p> <p>大人 1 稲葉 寛夫</p> <p>【女子】</p> <p>中2 1 竹橋 光 2 トウール 彩実</p> <p>●背泳ぎ 25 m</p> <p>【男子】</p> <p>小3 1 稲葉 ジョセフ 小6 1 高橋 聖一郎 2 伊澤 慎太郎 中2 1 植野 平良 2 森山 満音 高1 1 竹橋 一生 高3 1 森脇 寛基 大人 1 伊澤 聡一郎 2 稲葉 寛夫</p> <p>【女子】</p> <p>中1 1 竹橋 光</p> <p>●背泳ぎ 50 m</p> <p>【男子】</p> <p>小3 1 稲葉 ジョセフ 小4 1 関 恵吾 小6 1 高橋 聖一郎 中2 1 植野 平良 2 森山 満音 高1 1 竹橋 一生 高3 1 森脇 寛基 大人 1 伊澤 聡一郎 2 稲葉 寛夫</p> <p>【女子】</p> <p>中2 1 竹橋 光</p>	<p>●バタフライ 25 m</p> <p>【男子】</p> <p>小6 1 高橋 聖一郎 中2 1 植野 平良 2 森山 満音 高1 1 竹橋 一生 高3 1 森脇 寛基 大人 1 稲葉 寛夫</p> <p>【女子】</p> <p>小5 1 鄭 謬翰 中2 1 竹橋 光</p> <p>●バタフライ 50 m</p> <p>【男子】</p> <p>小3 1 稲葉 ジョセフ 中2 1 植野 平良 2 森山 満音 高1 1 竹橋 一生 高3 1 森脇 寛基 大人 1 稲葉 寛夫</p> <p>【女子】</p> <p>中2 1 竹橋 光</p> <p>●メドレー</p> <p>【男子】</p> <p>中2 1 植野 平良 2 森山 満音 高1 1 竹橋 一生 高3 1 森脇 寛基 大人 1 稲葉 寛夫</p> <p>【女子】</p> <p>中2 1 竹橋 光</p>
---	---	---	---

## ♪ コンベンションアンケート Part 2 ♪

6/2-3 大阪、6/9-10 東京で行いましたチアコンベンションの参加者の声をお届けします！



\*\*\*\*\*大人\*\*\*\*\*

●本当にすばしかったです。心から感謝します。いつもそうですが、チアコンベンションでは、主との関係、家族のあり方、夫婦の関係、親子の関係について語られて学ばされます。日常から離れ、違う空間に身を置いて主と交わり、主人との関係、娘との関係を見つめ直すことができました。今回コンベンションまでに、自分自身歯車が狂ったような状態で苦しかったのですが、今は落ち着きました。この恵みを忘れないように、一年間がんばりたいと思います。初めて行かせていただいた慶應義

塾大学の実験は、娘にとっても興味深かったらしく、良い体験になりました。成田さんの分科会からは、理科実験のやり方、楽しさについて教えていただき、大変ためになりました。（広島 Aさん）

●駐車場が近くなって大変助かりました!!会場もメインの横のテラスで小さい子を遊ばせながら過ごせたり、お風呂と部屋が近かったのも楽に過ごせてよかったです。風通し良く景色も良くロビーのアロマも癒しの空間でした。廊下も広々としていて、立ち話をしやすく感じました。スコットさんの“Be Patient With Them All”がとても良かったです。日々の具体

的な場面ですごく必要なツールというか、子どもを理解し、働きかける時の目安としてとても役立つものでした。個人的に質問させてもらってアドバイスを頂けたこともとてもありがたいことでした。本当に急ぎよ来て下さったこと感謝です。毎回、コンベンションを通して新しい気づき、目が開かれることがあります。

（後日…）

コンベンションの開催、本当にありがとうございました。成田さんの理科実験の分科会、目の前で実際に見たり、やってみたり、という体験ができたので、家でも子どもたちと一緒に出来そうな気がしてきました。地球と月と太陽の大

きさや距離を縮小したものを紙で作ることなどは、参加してみなければ知ることのできなかつたことです。北海道からわざわざ来てくださって感謝でした。娘さんの実験のアシスタントぶりも好ましく(素早い気づきや行動&笑顔)、これから将来どんな分野に進まれるにしても、仕事に必要なことを吸収し成長し活躍していかれる素質をしっかりと育ててこられたのだなと感じました。

スコットさんの“Be Patient With Them All”で聞いた、放縦には懲らしめを、くじけた心には励ましを、弱き者には助けを、という図。この組み合わせを間違えると上手くいかないということが、非常に参考になりました。この視点を実際どのように適用するか、ルカの福音書の中のイエス様の態度一つ一つを説明して下さったり、4歳と2歳のお孫さんのおもちゃの取り合い場面など、具体的な例で説明して下さったので、理解しやすかったです。親子、夫婦の間でも、相手がどういう状態にあるのかを見分けられていないために、的外れな対応を選んでしまい、良かれと思って言うことが、効果的でなく、傷や苦い思いを生じさせてしまうことさえある、その仕組みがよくわかりました。

昨年3月の交通事故の症状が完治せず、いろいろな治療を続けながらも、目が覚めた瞬間から、疲れた…と元気がない日がある長男にどうしてやったらいいのか悩んでいたの、彼が今どんな状態にあるのかを把握し、励ますのか戒めるのか慰めるのか手伝えるのか、それら全部が必要なのか等、

その場その場に適した働きかけを探っていくことを、あきらめずにやっていけそうと思え、希望が与えられました。参加予定だったけれど来られなかった従妹とも、今朝この分科会での学びを分かち合うことができました、感謝です！  
(兵庫 Bさん)

●神様の導きと受け取ってスコット・ソマービルさんが驚くべき展開の中、大きな犠牲を払って日本に来てくださり、コンベンションの主講師としての大役を担ってくださったことに感動しました。ビデオメッセージで「アメリカの僕たちは日本のホームスクーラーのお兄さんのようなものだから、困った時は助けに来る！」と言っておられた通り、本当に来てくださいました。奥様はじめ、スコットさんを日本へ送り出して留守中のことをカバーして下さっているご家族の皆様にも心から感謝でいっぱいです。久しぶりの神の家族との再会の中で、神様に従うご家族の上に与えられる神様の恵み、御業を感じる事ができました。スコットさんの「妻が夫に知ってほしいこと」、乾ファミリー、月城ファミリーの分科会が良かったです。慶応義塾大学の経済実験にも参加させてもらいました。この実験を通して、親の関わりの影響の大きさがよくわかります、とコメントされていたのが興味深かったです。来年の会場について、ご意見感想を聞きたいということでしたので、我が家でも帰り道に話題になりました。子どもたちは前の会場の方がチルミニの場所が良かったようです。雨の場合でも屋

根のある所を通過してすぐに体育館があるし、LITをするにも楽しかったと言っていました。私は今回の会場の庭付き(ポーチ?! )メイン会場が好きでした。親から離れられないけれど動き回る小さな子ども連れには、あの設定はとても感謝でした。(大阪 Cさん)

●美しい海や緑の庭園に囲まれ、神様が愛しておられる子どもたちをどのように愛するか、どのように家族に仕えるか、みことばによって励ましを与えられて感謝でした。毎年すばらしいコンベンションを用意して下さいありがとうございます。スコットさんの妻が夫にのぞむ10の希望が良かったです。300家族にアンケートを送り調査した結果なので、妻の要望がほとんど出ており、まず相手が願っていることを知る…ことがスタートなのだ気付かされました。伊藤先生の“教会を建て上げるホームスクーラー”とても良かったです！稲葉さんの強いマインド、主にあるお働きのゆえに立ち続けて下さって心から感謝します。チアにっぼんのスタッフの方々、主の教育を志す方々の一つとなって支える真実なお姿に励まされ、喜びをいっぱい頂きました。10年、ここまでホームスクールを続けられたことは、チアの励ましと応援が大きかったと感謝でいっぱいです。何をもってお返しできるだろうか…とっていたところに分科会や賛美の奉仕をさせていただけることになり、心から感謝します。ありがとうございました。(大阪 Dさん)

●チアコンベンションは私にとって、もはや同窓会もしくは帰省という感覚です。お互い子どもたちが小さかった頃から知っていて、志を同じくし、励ましあってきた神の家族だから、もう顔を見合わせるだけで涙腺が緩むほどうれしかった。最後のステージに上がって来た子どもたちを見て、小さな子が大勢いて、新しいホームスクーラーが起こされているのを見て励まされました。また、ティーンや社会人になった彼らの証しが素晴らしかった。中山さんの分科会も良かったです。お母さまの謙虚で、でも必死の祈りと実践に、神様とお子さんたちへの愛があふれていて、またそんなお母さまに心から感謝を表していた息子さん、その親子の姿が麗しかったです。これからも聖書からストレートなメッセージとイエス様の福音の恵みを届けてください!! いつもありがとうございます。

昨日、我が家のそばで、お子さんが登校困難になってしまった娘さん（中2とお母さまにお会いしました。ホームスクーリングについて日本の現状、進路の実績などを伝えると大変安心なさっていました。白馬セミナーに行ってみたいとワクワクされていました。

（神奈川 Eさん）

●OG参加でした。とっても楽しかったです！親子水入らずで食事できましたし、LITやキッズの皆さんは輝いていましたし、何よりOBOGとして凱旋した皆さんと短い間でしたがお喋りできたのが励みとなりました。実に国内外



のあらゆる分野で活躍していますが、実績を誇るのではなく、信仰の土台を築きあげてくれたホームスクールと家族に感謝してる光景が、とても素敵だと思いました。コンベンション終了後、数年ぶりに再会し、中高と文通していたYちゃんと、参宮橋駅前で冷やしラーメンに舌鼓を打ちながらホームスクールで良かったこと、近況、抱負など語り合えたのも良かったです。

映画「ドロップアウト」鑑賞会がよかったです。せっかく親が、血と汗と涙を流して時間を費やしてくれたホームスクールで育っても、いざその子どもたちが自立した時、生ぬるくなってしまい、最悪信仰も離れていってしまう、教会・信仰・聖書を離れてしまうそんなジレンマをピンポイントで描いたドキュメンタリーでした。自分もクリスチアの大学で聖書を学んで2年目ですが、何度も信仰面でドロップアウトしたので、映画を見ながら「あ、自分のことだ」と思っていました。ただ、そ

んな信仰の危機に直面しても、ホームスクール7年間で養われた愛・赦し・救いの確信、家族と過ごした時間、主と家族と人々に愛され変えられていったという経験が、私をいつも信仰の原点に連れ戻してくれました。もがきつつも自分と向き合い、家族にありのままの自分になり、最終的にイエスさまのもとに帰ってきて救われたという経験がなかったら、荒波が来た時あつという間に足元をすくわれていたでしょう。ホームスクールで得た全ての恵みが大きな錨となって私の学生生活・人間関係を支えてくれているような気がします。ただただ感謝です。でもここで安心して油断しちゃいけないので、これからも主と二人三脚で頑張ります！非常に濃密な学びと経験の場をありがとうございました。お働きに感謝します。（北海道&ペンシルバニア州 Fさん）

●ボランティアの方々含め皆さまの全てのご労に感謝します。素晴

らしい集まりでした！最もよかったのは、子どもたちがどれだけこの時間を楽しんでいるのか、そしてスタッフが子どもたちを愛し、子どもたちが居心地よいよう助けているかを見ることができたことです。特に私のまだ幼い子どもAの面倒を見てくれたBさんにお礼が言いたいです。初めて私抜きで託児に預け、45分泣いていたAをあやしてくれていたのです。他のホームスクーラーたちとの出会いを感謝します。たくさんの学びがこの時与えられています。祝福がありますように！（Gさん）

●チアコンベンションお疲れ様でした！とても楽しかったです。ありがとうございます。4年ぶりに参加しました。久しぶりに会った子どもたちが立派に成長していて、とても嬉しかったです。久しぶりにお会いした方ばかりだったのですが、皆温かく迎えてくださって居心地がとても良かったです。参加して本当によかったです。ありがとうございます。スコット氏の「私たちはいつも足りない。十分にできている人はいない。だから毎日福音・救いが必要なんだ」という言葉が心に響きました。毎日毎日一瞬一瞬神様と向き合うことの大切さを再認識させられました。絵画コンクール、写真コンテストのレベルが年々上がっているなあと感じました。これからもどんどん新しい企画などが始まると思うので、それがとても楽しみです。（東京 Hさん）

●去年のコンベンション、白馬セミナーで刺激を受け、ホームスク

ーリングやってみたい！と思うも、時間が経つにつれ、やっぱり私には無理かも…と今回2回目の参加。行く前に、聖書のⅡコリント12:9-10、詩編138:8、ヨハネ14:26のみことばが支えとなり、私の期待以上のものを神様見せてくださったように思います。前回知り合った方が声をかけてくれたり、同じ悩みや不安を持つお母さんとお話できました。主は私の全てをご存知です！神様の恵みで満ち溢れていて、本当に感謝です。中山さん家族、菊地さん家族の分科会は物凄く励まされました。正直、ホームスクーリングされている人皆がエリートにしか見えず、こんな田舎者にはハードル高すぎると思っていたので、証を聞いてものすごくホッとしました（笑）。実際にホームスクーリングされている家族の証を通して、たくさんの犠牲や困難はあるけど、それにまさる神様の祝福、備えがあることを教えられて本当に感謝でした。昨日、ホームスクーリングやりたいと願う～と独り言を言ったら子どもに「願うじゃないよ。信じるんだよ。」と言われました（笑）。御名を崇めます！ハレルヤ！

（秋田 Iさん）

●ソマービルさんの内容が濃く、消化に時間がかかりそうです。特に、懸案だった神さまと各教科の関係。また“神さまが見ている”の大切さ、父は「母を敬え」と言い、妻を立ち上げて祝福し、子のよい点を探して妻に語る。子に難しい課題を与える大切さ。戒めるか励ますか助けるか意識して使

い分ける。毎日家庭で福音を語る。妻の思いを祭司として神にとりなすことなどの情報を復習し、繰り返し活かそうと思います。

（千葉 Jさん）

●ソマービルさんの基調講演“あなたの家の隠された宝”から、あらためて主のみことばに信頼し、従って生きるなら、イエス様にあって実を結び、世の光として用いていただけることを再確認し、深く励まされました。また、今回のコンベンションではお交わりの恵みが多く与えられ、人間的に見れば困難で希望を見失いそうになる中でも、主が共におられ、真実に応えてくださる方であることを覚えることができました。主は生きておられる、本当に感謝です。私自身も新たな気持ちで日々歩み出したいと思うとともに、主にあって日々奮闘されている兄姉のことも祈りに覚えつつ、ともに主の栄光を喜びたいと強く思われました。スタッフの皆様のご労に心より感謝いたします。

（千葉 Kさん）

●我が家のホームスクーリングの良い点を感謝し、改善点にどのように向き合ったらいいか励ましと知恵が与えられて良かったです。絵画コンクールに親の私が初めて出展したのですが、授賞式で賞状を受け取る時に思わず涙がこみ上げてきました。大人になって表彰される機会などない私に「よくがんばってるね」と言われたような気がして嬉しかったです。

映画「ドロップアウト」を通して、親の思いを外れて子どもたち

がぶつかる壁があり、そこに未解決の罪の現実があることが分かりました。ですが、イエスキリストに焦点を当てて子どもが自分で取り組むなら克服していけることも分かりました。いずれ来るかもしれない戦いに備えることができました。ホームスクールは長男(9歳)が小学1年生の時から始めましたが、次男(6歳)が今春1年生になったので、これをきっかけに3人ともそろってのホームスクーリングをスタートしました。皆さまのお働きにもいつも感謝しています。(埼玉 Lさん)

●初めて参加しましたが、とても励まされました。現在、2歳の娘も喜んでチルミニに参加していたみたいで、コンベンション後の教会の礼拝でも、解放されたように、変化が著しかったです。良かった分科会は、中山さんと菊池さん。現在、私の夫はノンクリスチャン

です。小学校に入学することを条件にホームスクーリングを容認してくれました。同じ教会の方と協力して、小さなことからチャレンジしたいです。(秋田 Mさん)

\*\*\*\*\*子ども\*\*\*\*\*

●一年ぶりにお友だちに会えてうれしかったです。お母さんと一緒に分科会にも出れてうれしかったです。(神奈川 Nさん 11歳)

●すごく楽しかったし、コンクールでもらえた賞品を学年便りを取りに行ったときに校長先生に見せてコンベンションの話をしてもらいました。すごいです。大事にします。(神奈川 Oくん 8歳)

●今度はゲームと、子どもカフェでお菓子販売をしてみたいです。

チアにっぼんはとっても楽しいです。いつもみんなに会うととても喜びで心がいっぱいになって力がたくさんです。のりさんやスタッフのみんながおもしろくてイエス様が一番にして生きていくのがいいです。神様が一番にして生きていく大人がいてすごいです。自分もそういう大人になり

たいです。

(神奈川 Pくん 9歳)

●チルミニの「ワン、ツー、スリー」と風船がもらえてうれしかった。コンクールの賞状とプレゼントがとってもうれしかったです。いっぱい遊んで楽しかったです。

(神奈川 Qくん 4歳)

●とても楽しかったです。特にしっぽとりが楽しかったです。クリスチャンの友だちと遊べてうれしかったです。LITのお兄ちゃんたちがかっこよかったです。ほくも早くLITになりたいです。

(岡山 Rくん 9歳)

●はじめてのばしょだったから、たのしかったよ。またいきたいよ。らいねんは、おともだちをもっとつくっていっぱいたのしいことをしたいです。

(岡山 Sさん 7歳)

●同世代の女の子たちと交わることで、いつも自分のいい所、悪い所に気づかれます。本当にチアコンベンションがあって良かったです。来年LITに入りたいです。

(広島 Tさん 11歳)

●チルミニのゲームが面白かった。(東京 Uさん 10歳)

●チルミニで遊んだことが楽しかった。じょうずに踊れてうれしかった。(母：前回までチルミニに入れませんでした。今回は2日目は走ってチルミニに向かうほど楽しかったようです。)

(東京 Vくん 4歳)



# 東京路傍伝道

5年前から、伊勢崎のチャーチ&ホームスクーラーたちのリーダーシップで進められてきた「東京伝道」チーム。これまで、足立区、葛飾区、江戸川区、荒川区と合計100万世帯以上を終え、現在、北区で伝道しています。滅びゆく日本の魂のために、宅配トラクト&聖句プラカード伝道に参加してみませんか。どなたでも大歓迎です。1時間でも参加できる方は、ぜひ、どうぞ！（事前に必ず、ご連絡ください。）



## 主のご命令に従うこと、伝道！

クリスチャンとは主に従う者たちです。弟子たちは主と共に伝道しました。あなたも、東京伝道に参加してみませんか。

### ★東京伝道★

11/23（木） 12/23（土）

（他に毎月第2・4日曜日午後5時から、高崎駅にて賛美と配布をしています。）

★集合場所：赤羽駅  
★時間：10:00～16:00

★連絡先：  
0270 - 21 - 6991（福音館）  
080 - 5682 - 9726（田村）  
090 - 6147 - 2428（森下）  
<http://www.isesaki-fukuin.com>

伊勢崎福音館のQRコード  
ぜひ、ご登録ください。



## 会員カードについて

チアメンバー会員カードを、今秋より、無しで進めてみることにしました。業務効率化のためです。

白馬セミナー会場等のチア・メンバー10%ディスカウントについては、口頭でお知らせください。カードがご入り用の皆さまには、発行しますので、事務局までお知らせください。どうぞよろしくお願い致します。

お問い合わせは事務局まで  
➡チア・にっぽん事務局  
TEL:042-318-1807  
Mail:office@cheajapan.com



とても楽しく、有意義でした！  
（伊勢崎・チア伝道デーより）

## ♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

★ニュースレターを読ませていただき、稲葉さんのとてもオープンなお証にも励まされています。スタッフの方々への祝福もお祈りいたします。よく、主人と日本のホームスクールをしている人たちとの交わりのときが持てるといいね、と話してきましたが、いつの日か皆さんにお会い出来るのを期待しています。

(オーストラリア Aさん)

★お世話になっております。注文した本「母なるあなたへ」「チャイルド・トレーニング」「親と子のコミュニケーション」「ちょっぴりホームスクーリング」「りか1セット」「ここを育てるために一聖書一セット」が届きました！ありがとうございました。どれも興味深く、いっしょに読み終えてしまいそうです。りかの教科書もとっても良いです！子どもたちが身近な生活の中から楽しく学習できるように構成されていて、楽しく学習できて、毎日が楽しみになる教科書ですね。(沖縄 Bさん)

★先日コンベンションで購入した本「聖書が教える親と子のコミュニケーション」がとっても良かったのでママ会で使用したいと思っています。7冊購入できますでしょうか？

→昨日、早速本を使って第一回目やってみました！ディスカッションポイントが付いているので、ママ会に使いやすかったです。

(宮城 Cさん)

★したきりすずめのクリスマス、何度読んで号泣です。聖書教科書の「ここを育てるために一聖書一」も、友人の親子にプレゼントしましたが、とても喜んでもらえました。本当に良い本を扱ってくださって、感謝しています。

(千葉 Dさん)

★先日、私が結婚前からお世話になっている Bridges For Peace (BFP) という団体の月刊誌にチアの前事務局長でいらっしゃった桑谷美穂さんの記事をお見かけしました。BFPでもつながっていることや、イスラエル情勢への「教育」という視点での洞察力はさすがだと、夫婦で嬉しく拝読させていただいたところです。BFPスタッフに並行して、今もチア・マガジン副編集長や国会での働き等、労してくださっておられ、とても感謝に思っています。また、お会いできたらと思っています。主の豊かな守りと祝福がありますように。感謝しつつ。(岡山 Eさん)

### ★★★ お誕生日おめでとう ★★★



8月27日生まれ  
関実ツ葉(みつば)ちゃん



9月15日生まれ 清野穂垂(ほたる)くん

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

## チア・にっぽん カレンダー

### ●白馬セミナー

11月23(木)～25日(土)

◇ホテル・グリーンプラザ白馬

講師：グレッグ・ハリス氏

ジョイス・イノウエ女史

### ●ジョイラン 4月上旬

### ●コンベンション 2018

大阪 6月1日(金)・2日(土)

◇大阪府羽衣青少年センター

東京 6月8日(金)・9日(土)

◇オリンピック記念青少年総合センター

### ●サマーキャンプ 8月中旬

### ●オリンピック 9月

### 【7月会計】

収入	
献金	2,779,680
書籍・教科書	119,240
会費	18,000
広告	0
DVD/CD、ビデオ等	11,390
その他	15,225
	2,943,535
支出	
事務局経費	2,668,584
通信運搬費	79,338
交通費	15,710
印刷費	344,556
DVD & 商品仕入費	66,241
	3,174,429
残高	-230,894
前期繰越	72,498
翌期繰越	-158,396

### 【8月会計】

収入	
献金	1,432,000
書籍・教科書	25,534
会費	36,000
広告	160,000
DVD/CD、ビデオ等	6,759
その他	19,084
	1,679,377
支出	
事務局経費	1,380,210
通信運搬費	70,040
交通費	111,104
印刷費	0
DVD & 商品仕入費	4,643
	1,565,997
残高	113,380
前期繰越	-158,396
翌期繰越	-45,016

☆尊い献金、会費の送金を、  
心から感謝いたします。

## 新・栄養医学 ガイドブック

サブリがもたらす健康の回復

マリア・クリニック院長  
柏崎良子

神は健康の設計図を DNA の中に記しています。身体の機能、栄養素の働き、病気に対する聖書的・栄養医学的見解を理解して心身の健康を獲得しましょう。



クリスチャン医師の柏崎良子が、分子整合栄養医学の開拓者・第一人者として多くの病気や障害を治療してきた経験・知識・治療方法を詳細に説明した、開業30周年の力作です。

大好評発売中 / 363頁  
定価 2,700円 + 税

株式会社ヨーゼフ ご注文は TEL/FAX、アマゾンでの購入も可能です  
http://yozeff.com/ TEL 043-207-6035 FAX 043-207-6036



チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103

TEL 042-318-1807 FAX 03-6862-8648

メール office@cheajapan.com